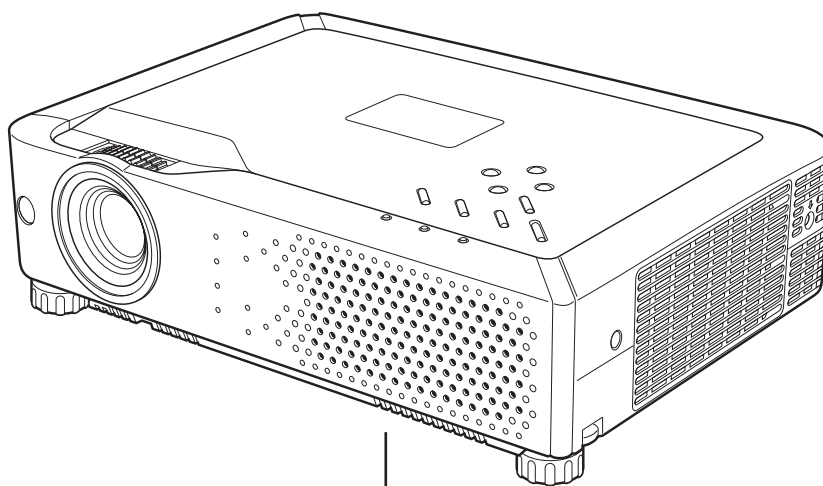
取扱説明書

液晶プロジェクター

品番 LP-XU73/LP-SU70

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。とくに4～11ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。
お買い上げ商品の品番は底面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

LP-XU73 / LP-SU70 の特長

LP-XU73
1024 x 768 ドットの高解像度液晶パネル採用。XGA画像をリアル表示。SXGA、WXGA、UXGAを圧縮表示。

LP-SU70
800 x 600 ドットの高解像度液晶パネルの採用。SVGA画像をリアル表示。XGA、SXGA、WXGA、UXGAを圧縮表示。

狭い場所でも大画面投映可能な1.2倍光学式ズームレンズを採用

小型・軽量・コンパクトデザイン

使用後すぐに持ち運びができる。

- ファンの停止を待たずに、電源コードを抜くことができます。

プログレッシブ スキャン

- プログレッシブスキャンの採用により、映像をより高画質に投映します。

ランプの明るさを調整することができるランプモード

電力の節約を助ける、パワーマネージメントモード

暗証番号を登録してセキュリティー強化

- 「ロゴ暗証番号ロック」と「暗証番号ロック」機能で、第三者の不正使用や誤作動を防ぐことができます。

キャプチャー機能で好きな画像を取り込み、オリジナルの起動画面を作ることが可能。

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

- コンピュータの信号の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャン システム」と「オート PC アジャスト」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投映できる「デジタル ズーム」機能。（コンピュータ モード時）
- 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタル キーストーン (台形補正)」機能。
- 音声を一時的に消す「MUTE」機能・画面を一時的に消す「NO SHOW」機能・画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER (プレゼンテーション タイマー)」機能。
- 「アンプ・スピーカ」内蔵で音響施設のない出先等でもプレゼンテーションが可能。
- 「黒（緑）板」モードでスクリーンがなくても黒（緑）板に投映して通常のスクリーンに投映したときの色合いを再現。

コンポーネント 映像入力端子を装備

- DVDやHDTVなどを高画質で再生。

入・出力切り替え可能D-sub端子を装備

- コンピュータ入力または、コンピュータ出力として切り替えて使用することができます。

天吊り、据置、リア投映など、さまざまな設置方法に対応

海外の映像システムにも対応する 6 カラーシステム

- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N カラーシステムに対応。

高機能ワイヤレスリモコン付き

～本説明書中の記号について～	
(電球マーク)	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
(指マーク)	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン]名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。 例： [SELECT]ボタン、[COMPUTER IN 1 / COMPONENT IN] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。 例： 「インプット」、「キーストーン」

＊本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

目次

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

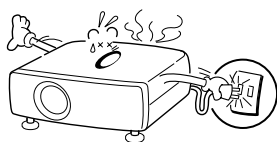
■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

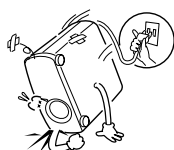
	注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。 △の中に具体的な注意内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。
	してはいけない行為（禁止事項）を示しています。 ⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。
	しなければならない行為を示しています。 ●の中に具体的な指示内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

⚠ 警 告

電源プラグを
コンセントから抜け

下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

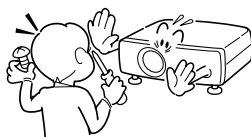
・煙が出ている
・変なにおいや音がする
・水など液体が本機の内部に入った
・金属類や異物が本機の内部に入った
・画面が映らない
・音が出ない
・大きな音が出てランプが消えた

このような異常状態や故障状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

警　告

電源プラグを
コンセントから抜け

万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

感電注意

本機のキャビネットは外さないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

禁　止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。
※１つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないで下さい。

禁　止

水ぬれ禁止

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 警 告

風呂、シャワー室
での使用禁止

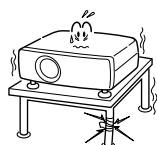
風呂、シャワー室では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

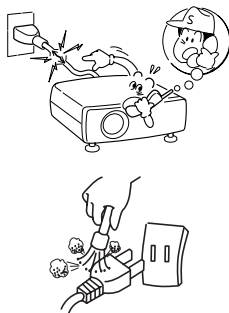
本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

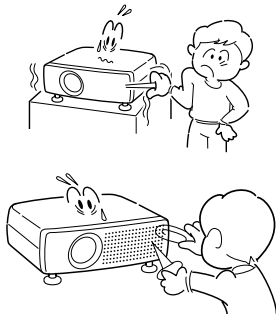
禁　止

不安定な場所に置かないでください。

ぐらついた台の上や、傾いた所、高い棚の上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

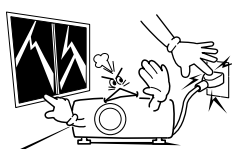
※「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。お買い上げの販売店にご相談下さい。

禁　止

電源コードの取扱に注意してください。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。
  コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
  コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ·ごみ·汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くには特にご注意を）

禁　止

吸気口・排気口にご注意下さい。

- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。

⚠ 警 告

本機を改造しないでください。

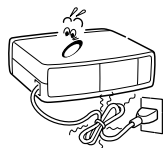
火災・感電の原因となります。

アース線を接地してください。

本機は接地端子の付いた 3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を設置してください。（詳しくは、23ページをご覧ください。）

使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。

⚠ 注 意

電源コードの取扱いにご注意下さい。

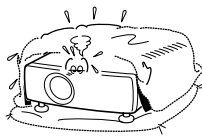
- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。

以下のような場所には置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

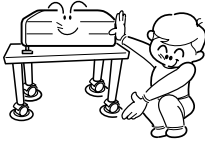
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

⚠ 注 意

禁 止

ご使用のときは、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。
吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 設置のときは、ファンの排気口を壁から1メートル以上あけてください。
- 空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。
- 次のような使い方はしないでください。
  * 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
  * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
  * じゅうたんや布団の上に置く。
  * テーブルクロスなどを掛ける。
- また、壁など、周囲のものから じゅうぶんにはなし、風通しをよくしてください。（上方20cm、側面・後面50cm、排気口1m以上）

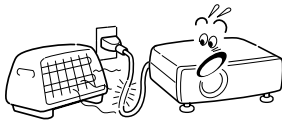
注 意

キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁 止

本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。

特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁 止

電源コードを熱器具に近づけないでください。

コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。

禁 止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け

移動させる場合は、電源コードにご注意下さい。

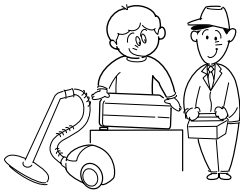
電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注 意

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

感電の原因となることがあります。

長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。

長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。
持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズキャップをはめ、専用のケースに納めて運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

● 電波障害自主規制について ●

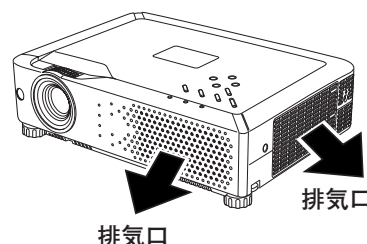
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。
・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
・観葉植物やペットを置かないでください。
・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
・排気口付近には視聴席を設けないでください。

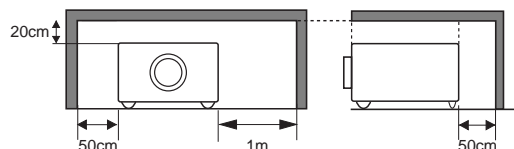
注　意

熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

● こんな場所には設置しないでください ●

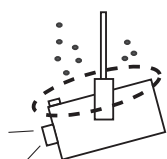
湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～35℃	保管温度範囲	－10℃～60℃

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。
（上方20cm、側面・後面50cm、排気口1m以上）

● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

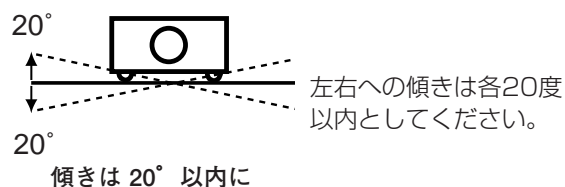
天井から吊り下げてご使用になるときに

天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルターの掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取りのぞいてください。

注　意

正しい方向に設置してください

プロジェクターは正しい方向に設置してください。誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となります。

傾きは 20° 以内に

左右への傾きは各20度以内としてください。

横置き禁止

横に立てて設置して投映しないでください。

上向き禁止

上向きに設置して投映しないでください。

下向き禁止

下向きに設置して投映しないでください。

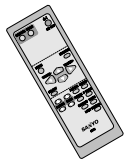
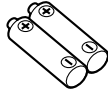
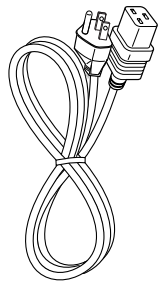
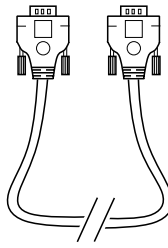
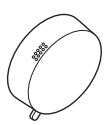
⚠ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP REPLACE］インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

❶ リモコン

❷ リモコン用アルカリ乾電池（単三形2本）

❸ 電源コード

❹ コンピュータ接続ケーブル（D-sub 用）

❺ 取扱説明書 (本書)

❻ 保証書

❼ レンズキャップ

❽ レンズキャップ用ひも

❾ PIN code lock シール*

＊ 暗証番号を登録し、プロジェクターをロックしたとき、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロジェクターがロックされていることを表示するのにご使用ください。☞73ページ

<レンズキャップを取り付ける>

本機をお使いにならないときはホコリやキズからレンズを守るためレンズキャップをはめてください。

1 レンズキャップの穴にひもを通します。

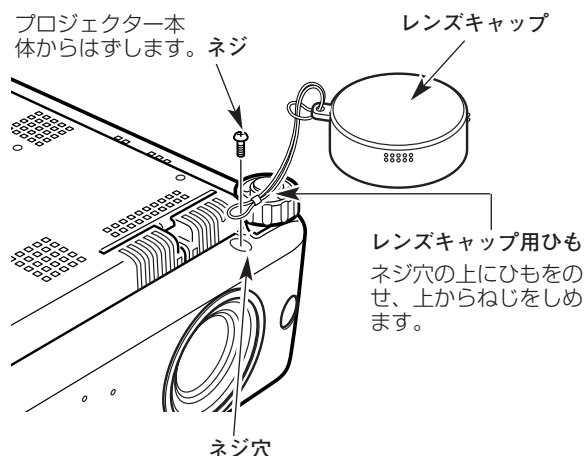
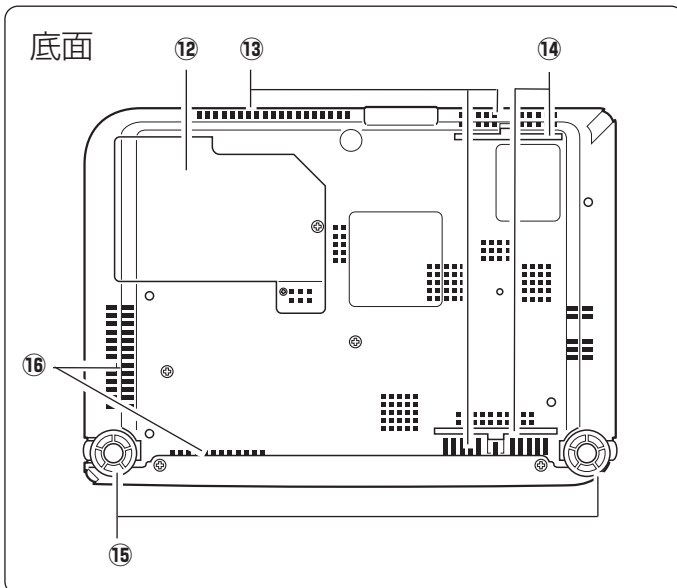
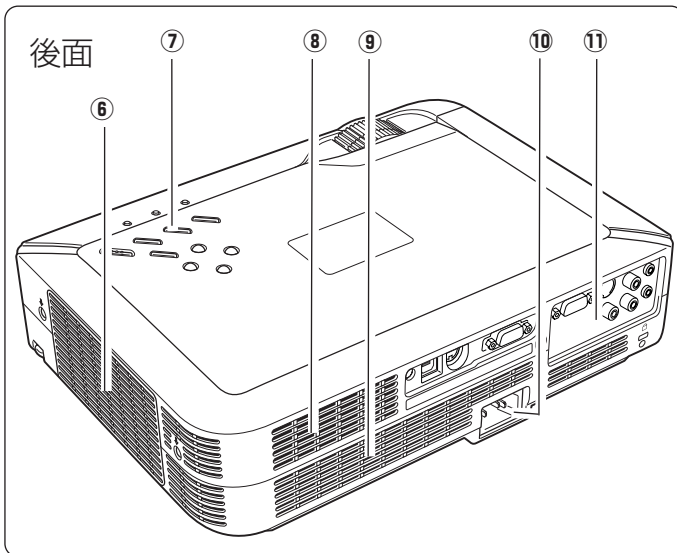
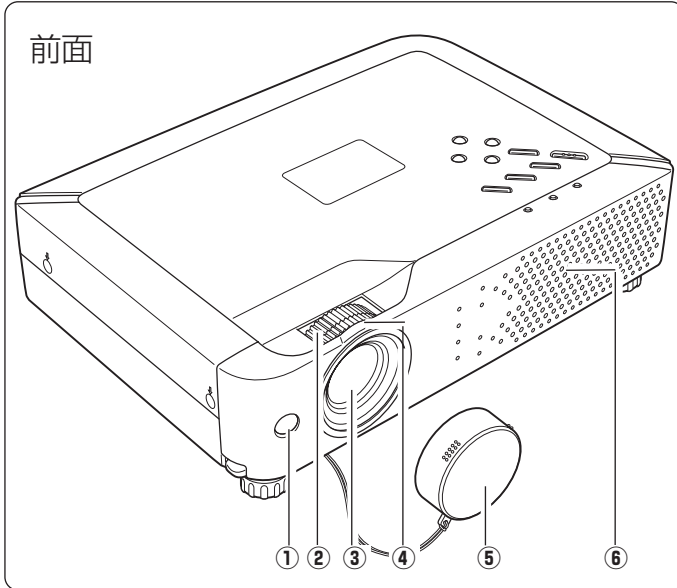
2 本機の底面にある取付用ネジをはずします。ネジ穴にひもをのせ、ひもの上からとりはずしたネジをしめて、本機に取り付けます。

各部の名称

本体各部のなまえ

前面

後面

底面

ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

① リモコン受信部
② ズームリング
③ レンズ
④ フォーカスリング
⑤ レンズキャップ ＊1
⑥ 排気口 ＊2
⑦ 操作パネル・インジケータ
⑧ スピーカ
⑨ 吸気口 ＊3
⑩ 電源コード接続ソケット
⑪ 後面端子
⑫ ランプカバー
⑬ 吸気口（後面と底面）＊3
⑭ エアフィルター
⑮ 調整脚
⑯ 排気口 ＊2

＊1

ランプ点灯中はレンズキャップをかならずはずしてください。レンズキャップをつけたまま点灯すると、レンズキャップの変形および火災の原因となります。

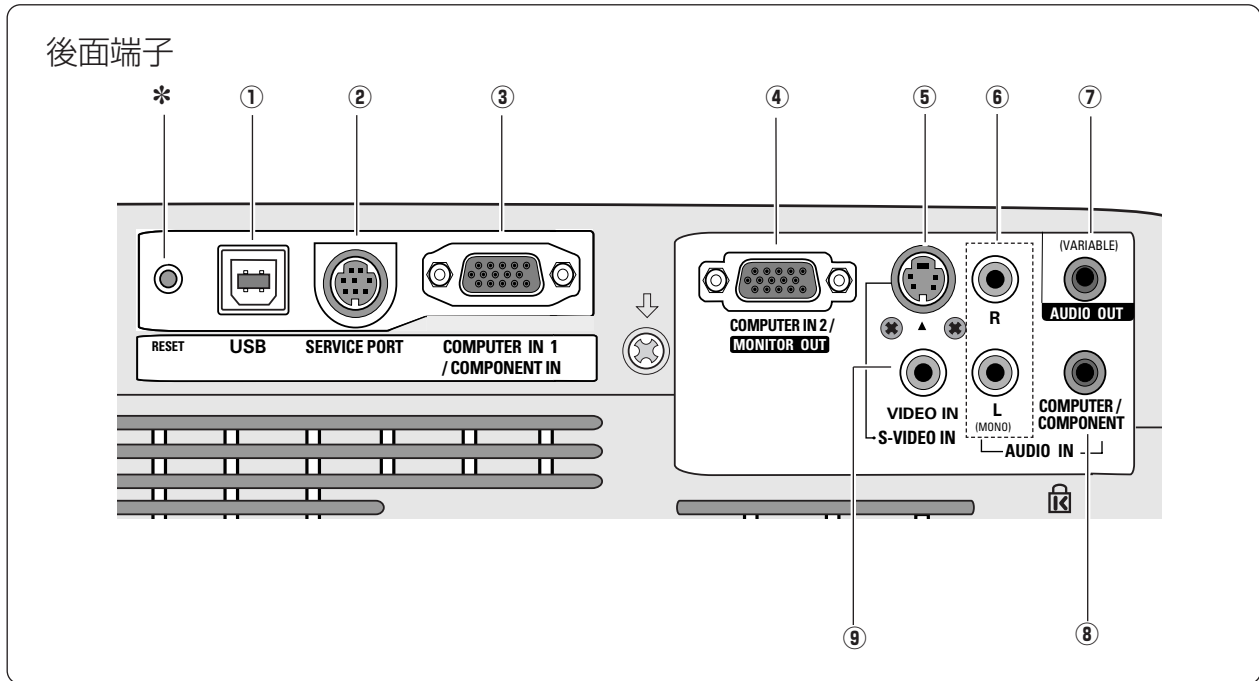
＊2

内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

＊3

内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

機器をつなぐ端子

後面端子

① **USB（USB端子）** ☞20、70ページ
この端子とコンピュータのUSB端子をUSBケーブル（市販品をお使いください）でつなぐと、リモコンの［PAGE］ボタンを使って、コンピュータの画面のページを前後に送ることができます。

② **SERVICE PORT（サービス用端子）**
サービスマン用の端子です。

③ **COMPUTER IN 1 / COMPONENT IN（コンピュータ / コンポーネント入力端子）**
☞20、22ページ
コンピュータからの信号または、ビデオ機器からのコンポーネント信号を入力します。
接続には付属のコンピュータケーブル（D-sub用）または別売のD-sub/コンポーネントケーブルを使用します。
※ 市販の長いコンピュータケーブルを使うときは、この端子に接続してください。

④ **COMPUTER IN 2 / MONITOR OUT（コンピュータ入力 / モニター出力端子）**
☞20ページ
コンピュータからのアナログ信号を入力します。
また、コンピュータのモニター出力として切り替えて使用することができます。
接続には付属または市販のコンピュータケーブル（D-sub用）を使用します。

⑤ **S-VIDEO IN（S映像入力端子）** ☞21ページ
ビデオ機器からのS映像出力をこの端子に接続します。

⑥ **AUDIO IN（音声入力端子）** ☞21ページ
⑤または⑨に接続された、ビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は［L (MONO)］端子へ接続してください。

⑦ **AUDIO OUT（音声出力端子）（可変）**
☞20～22ページ
⑥または⑧に接続された、投映中のコンピュータまたはビデオ画面の音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。

⑧ **COMPUTER / COMPONENT AUDIO IN（コンピュータ / コンポーネント音声入力端子）**
☞20、22ページ
③または④に接続された、コンピュータまたはビデオ機器からの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。

⑨ **VIDEO IN（ビデオ入力端子）** ☞21ページ
ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。

✻ リセットボタン
本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

※ 別売のD-sub/コンポーネントケーブルの3ピン部分は、メスになっています。ビデオ機器とつなぐときは市販のオスの形状のケーブルが必要になります。

操作パネルのボタン

① SELECT（セレクト）ボタン ☞30、40、41ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズーム モードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

② ON–OFF（オン オフ）ボタン ☞24、26ページ
電源を入り・切りします。

③ MENU（メニュー）ボタン ☞31ページ
メニューバーを出します。

④ POWER（パワー）インジケータ ☞62ページ
プロジェクターの状態を示します。

点灯（赤）：電源を入れる準備ができました。
点滅（赤）：ランプの冷却中です。
点灯（緑）：プロジェクターは動作中です。
点滅（緑）：パワーマネージメントモードがはたらいています。

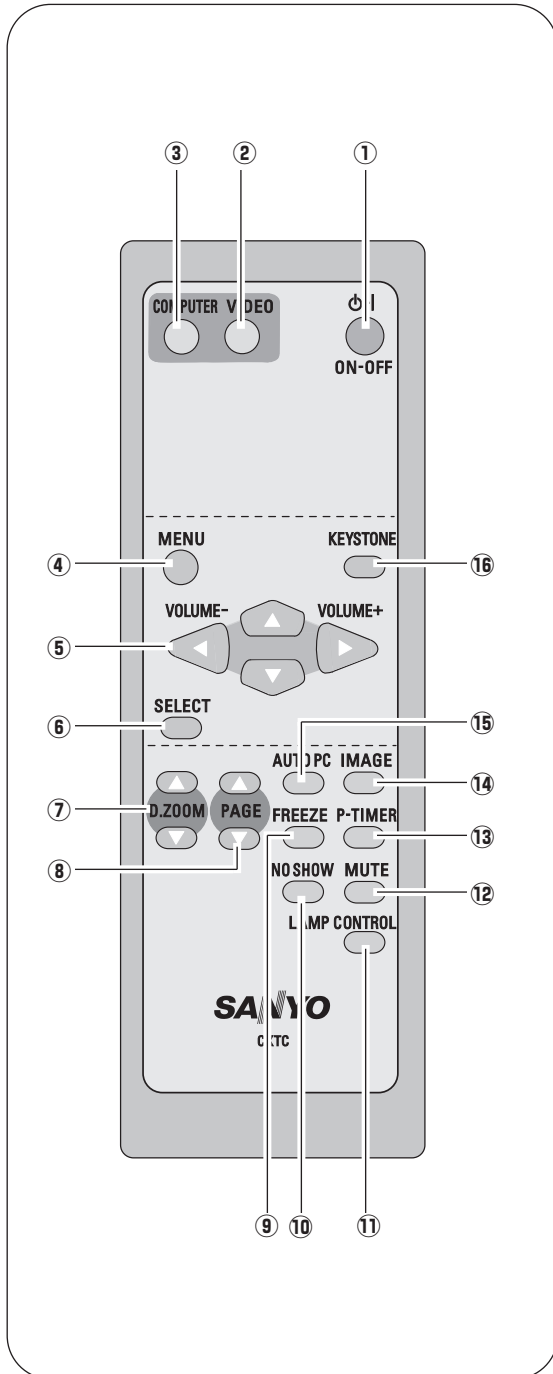
⑤ INPUT（インプット）ボタン ☞32、42ページ
インプット（入力）を切り換えます。

⑥ WARNING（ワーニング）インジケータ ☞62ページ
赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。また、プロジェクターの内部の異常を検知したとき赤く点灯します。

⑦ LAMP REPLACE（ランプリプレイス）インジケータ ☞62ページ
ランプの交換時期を知らせます。

⑧ KEYSTONE（キーストーン）ボタン ☞27、48ページ
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。

⑨ ポイント（VOLUME（ボリューム））ボタン ☞29、30ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動や音量の調節に使用します。

リモコンのボタン

① ON–OFF ボタン ☞24、26ページ
電源を入り・切りします。

② VIDEO ボタン ☞42ページ
入力をビデオに切り換えます。

③ COMPUTER ボタン ☞32ページ
入力をコンピュータに切り換えます。

④ MENU ボタン ☞31ページ
メニューバーを出します。

⑤ POINT ボタン ☞29、30ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動やメニューの調整、音量の調整に使用します。

⑥ SELECT ボタン ☞30、40、41ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

⑦ D.ZOOM ボタン ☞40、41ページ
デジタルズームの操作をします。

⑧ PAGE ボタン ☞14、20ページ
コンピュータの画面のページを送るはたらきをします。▲で前のページへ、▼で次のページへ送ります。
※ このボタンを使うときは、コンピュータとプロジェクターのUSB端子をUSBケーブルで接続してください。

⑨ FREEZE ボタン ☞28ページ
画面を一時的に静止させます。

⑩ NO SHOW ボタン ☞28ページ
画面を一時的に消します。

⑪ LAMP CONTROL ボタン ☞53ページ
ランプモードを選択します。

⑫ MUTE ボタン ☞29ページ
音声を一時的に消します。

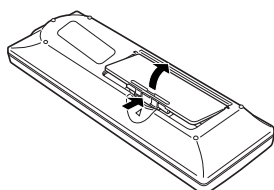
⑬ P-TIMER ボタン ☞28ページ
プレゼンテーション（ボタンを押してからの）経過時間を表示させます。

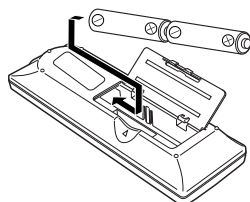
⑭ IMAGE ボタン ☞37、44ページ
イメージモードを選択します。

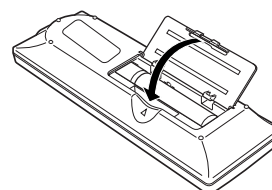
⑮ AUTO PC ボタン ☞34ページ
トラッキング・総ドット数・画面位置を自動調整します。

⑯ KEYSTONE ☞27、48ページ
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。

電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。

ツメの部分を押して、引き上げます。

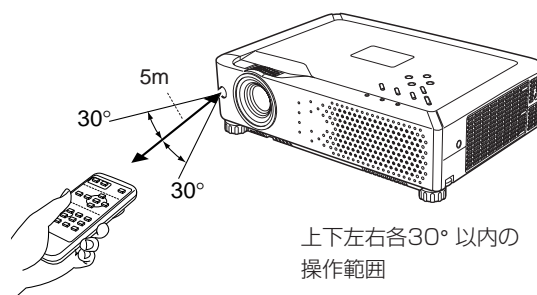
2 電池を入れます。

＋プラス、－マイナスに注意して付属の乾電池（単3形アルカリ乾電池2本）を入れます。

3 電池カバーを閉めます。

カチッと音がするまでしっかり閉じます。

電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんご注意ください。
・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
・乾電池は充電しない。分解しない。
・＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。
また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。
・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

リモコンで操作できる範囲

リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面のリモコン受信部から約5m以内、上下左右30度以内です。
※間に障害物があると操作の妨げになります。

リモコンを使用するときのご注意

・ 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当らないようにする。
・ 液状のものをかけない。
・ 落としたり衝撃を与えない。
・ 熱や湿気をさける。

上下左右各30° 以内の操作範囲

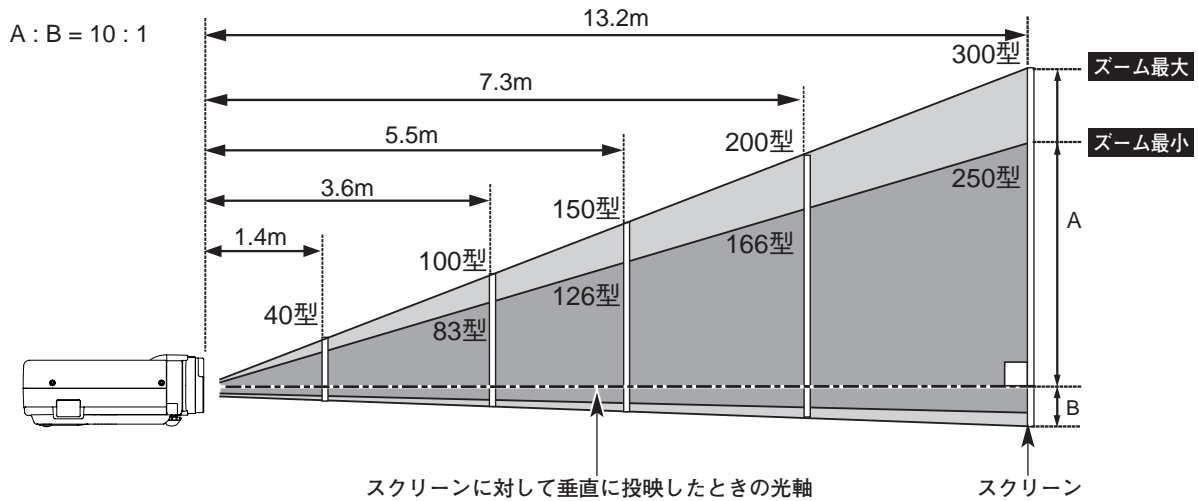
リモコンコードの設定

本機は2種類のリモコンコードの設定が可能です。2台のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。リモコンコードを他のコードに変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り替える必要があります。
プロジェクターのリモコンコードを切り替えるには「セッティング」メニュー内で行ないます。 ☞53ページ
本機 (プロジェクター) を「コード 2」に設定した場合、リモコン本体のコードも「コード 2」に切り換える必要があります。リモコンの［MENU］と［IMAGE］ボタンの両方を同時に10秒以上押すと、リモコン本体のコードが「コード 2」に切り換わります。リモコン本体のコードを切り換えた後は、リモコンが正しく動作するか確認してください。リモコンの電池交換を行なうと、リモコン本体のコードが「コード 1」に戻ります。

※ 工場出荷時は「コード 1」に設定されています。

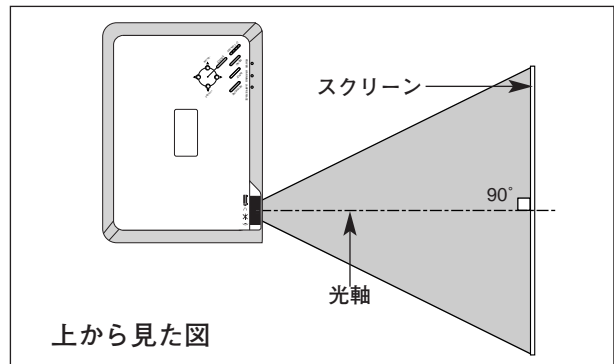
設置のしかた

スクリーンからのおよその距離と画面サイズの関係

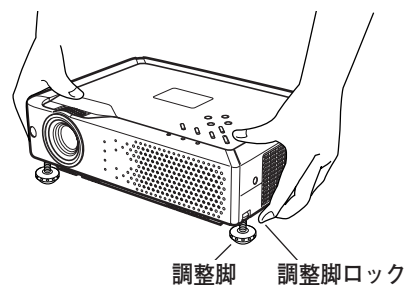
画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。スクリーンからレンズまでの距離が約1.4m〜13.2m の範囲に設置してください。

画面サイズ (幅 x 高さ : mm)	40 型	100 型	150 型	200 型	300 型
	813 x 610	2032 x 1524	3048 x 2286	4064 x 3048	4064 x 3048
投映距離 (ズーム最小)	1.7m	4.4m	6.6m	8.8m	13.2m
投映距離 (ズーム最大)	1.4m	3.6m	5.5m	7.3m	11.0m

※上表は 4：3 の画面サイズで、投映画像の内容により画面サイズが異なる場合があります。 ☞40、41、47ページ

スクリーンに対して直角に設置する

投映したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。

投映画面の高さと傾きを調整する

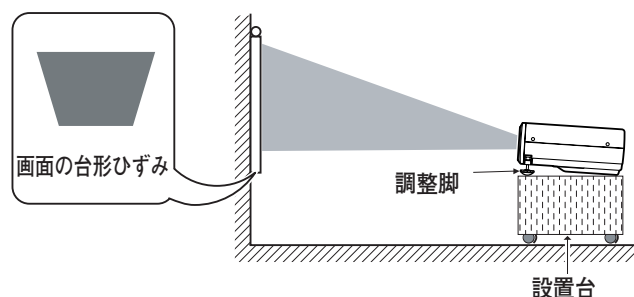
1 本体前方を持ち上げてから両側の調整脚ロックを指で引き上げて調整脚を伸ばし、指を離して調整脚をロックします。

2 本体前方の2つの調整脚をまわして投映画面の高さと傾きを微調整します。最大約10度まで上がります。

 左右方向の傾きは±20度以内に

左右の傾きが±20度以内になるように投映してください。傾きが大きいと、ランプの故障の原因となります。

画面の台形ひずみ（あおり）

調整脚を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。 ☞27、48ページ

※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

 お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

 ご注意・著作権について

この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り替え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

接　続

接続の例～コンピュータ

接続に使用するケーブル（* = 市販のケーブルをお使いください。）

- コンピュータ接続ケーブル　（D-sub用）
- USBケーブル *
- オーディオ ケーブル
  （ステレオミニプラグ *、または 2xピンジャック *）

コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

※ ノートブック型は、キーボードの［Fn］キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。

ノートブック型　デスクトップ型

音声出力へ　USBポートへ　モニター出力へ　モニター出力へ　オーディオアンプ/ステレオスピーカ

音声入力へ

USB ケーブル *　コンピュータ接続ケーブル (D-sub用)　コンピュータ接続ケーブル (D-sub用)

USB へ　COMPUTER IN 1 / COMPONENT IN へ　COMPUTER IN 2 / MONITOR OUT へ

オーディオケーブル (2x ピンジャック) *

AUDIO OUT へ

オーディオケーブル (ステレオミニプラグ) *

COMPUTER/ COMPONENT AUDIO IN へ

RESET　USB　SERVICE PORT　COMPUTER IN 1 / COMPONENT IN　COMPUTER IN 2 / MONITOR OUT　(VARIABLE) AUDIO OUT　VIDEO IN　S-VIDEO IN　R　L (MONO)　AUDIO IN　COMPUTER / COMPONENT

※注１）
［COMPUTER IN 1/ COMPONENT IN］のモニター出力として切り替え可能です。
☞52ページ

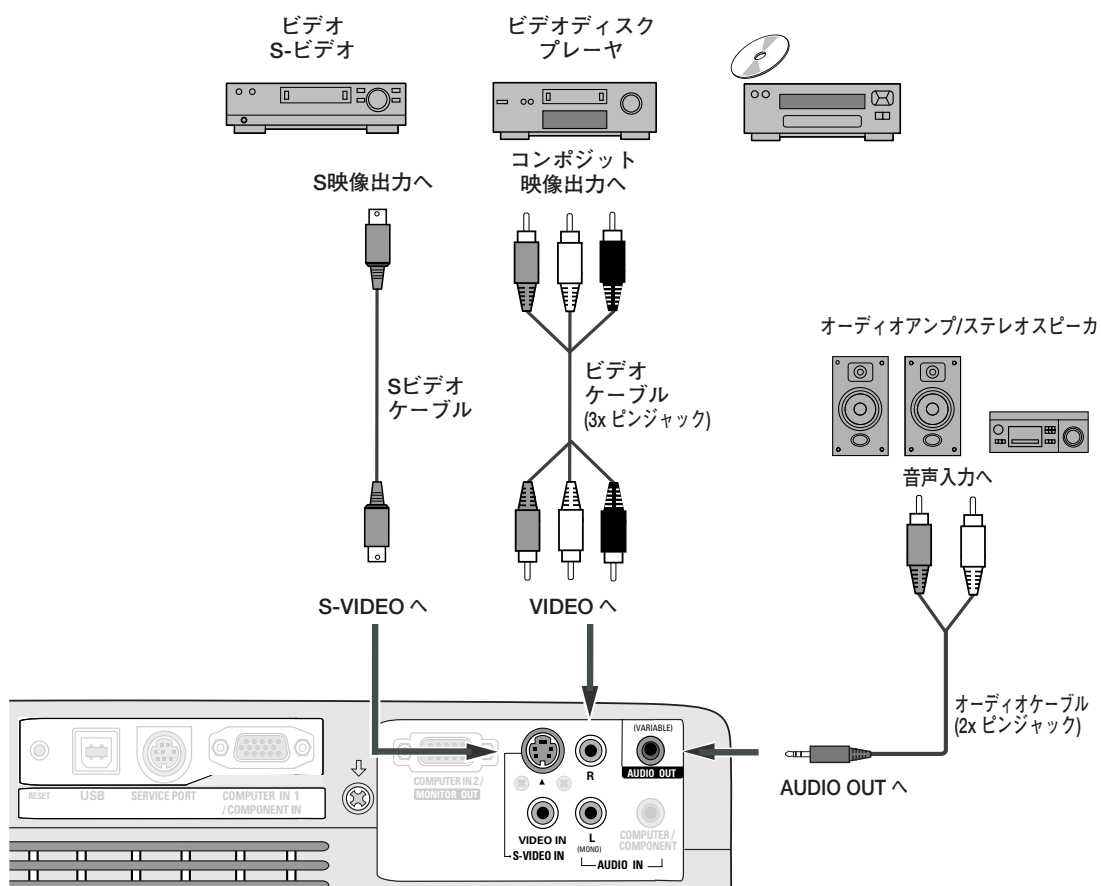
※注）
内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、［AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、［AUDIO OUT］にプラグがささっていないか、確認してください。

接続するときのご注意:
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

接続の例～ビデオ機器 -1

接続に使用するケーブル

※本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。

- ビデオ ケーブル（3xピンジャック）
- Sビデオ ケーブル（ミニDIN 4ピン）
- オーディオ ケーブル
  （ステレオミニプラグ、または2xピンジャック）

※2台のビデオ機器を接続しているときは、インプットメニュー内の信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入（信号の有無ではない）を検知して、1）S-Video、2）Video の順位で入力端子を自動選択します。接続されている入力端子が選択されないときは、インプットメニュー内の信号選択メニューでポインタを合わせ、[SELECT］ボタンで選択してください。 ☞42ページ

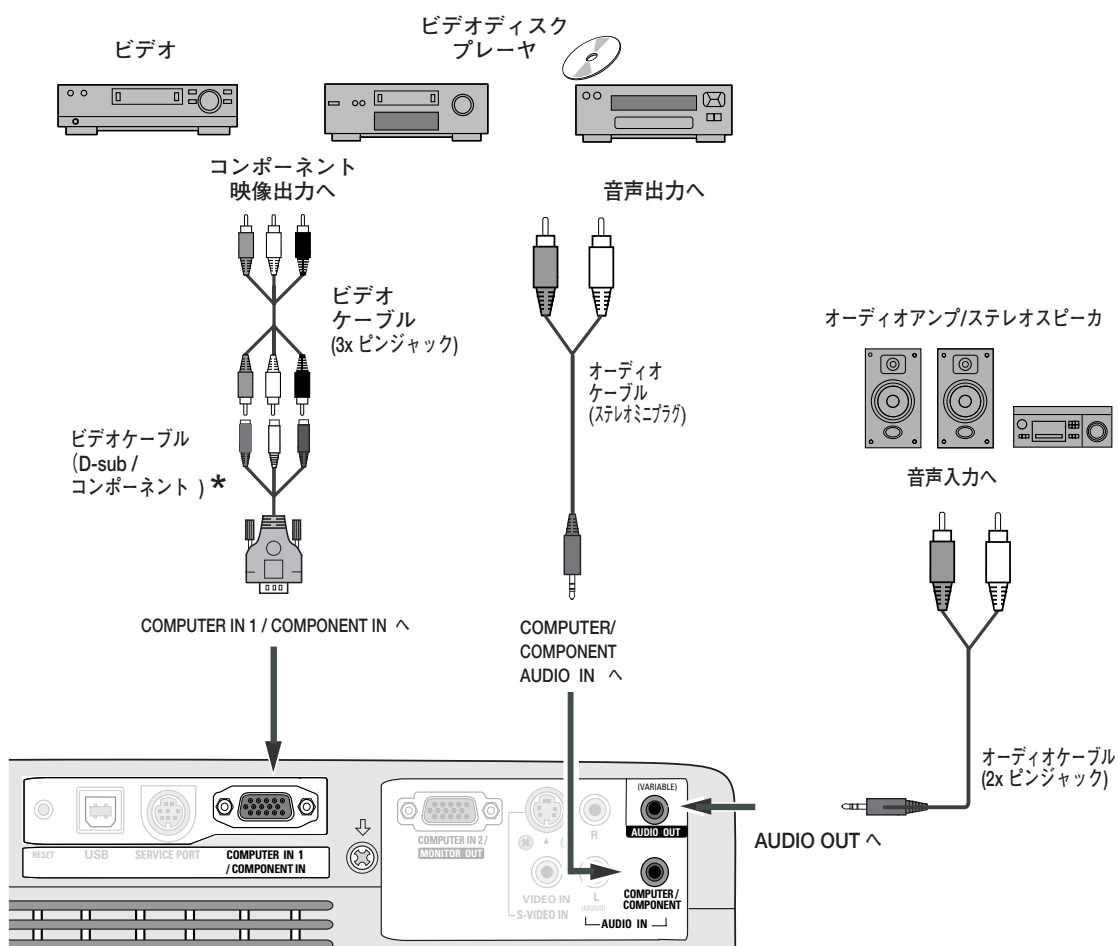
※注）
内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、[AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、[AUDIO OUT］にプラグがささっていないか、確認してください。

接続するときのご注意:
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

接続の例～ビデオ機器 -2

※ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。
＊ =は別売品があります。 ☞ 69ページ

接続に使用するケーブル

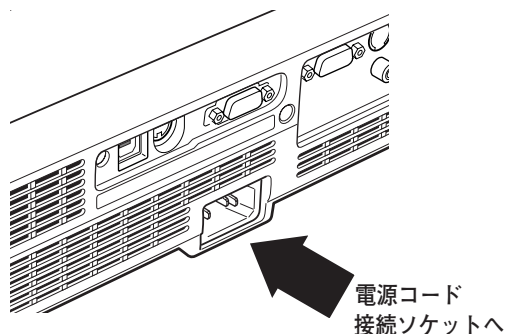
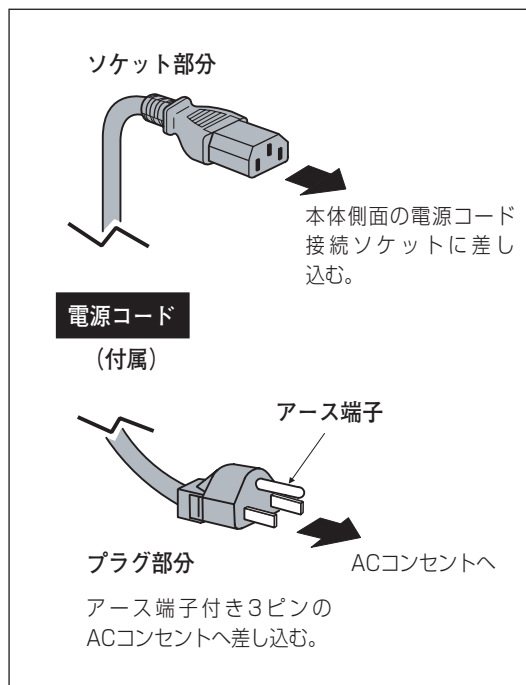
• ビデオ ケーブル
（D-sub/コンポーネント ＊）
• オーディオ ケーブル
（ステレオミニプラグ、または2xピンジャック）

＊ 別売のD-sub/コンポーネントケーブルの3ピン部分の形状はメスになっています。ビデオ機器とつなぐときは市販のオスの形状のケーブルが必要になります。

※注）
内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、［AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、［AUDIO OUT］にプラグがささっていないか、確認してください。

接続するときのご注意:
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、14、20〜22ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

1 電源コードのソケット部分を本体側面の電源コード接続ソケットに差し込みます。

2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き3ピンのACコンセントに差し込みます。

アース端子を接地してください

機器を安全にご使用いただくために、電源プラグのアース端子の接地を行なってください。また、アース端子の接地はコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因となることがあります。

ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、操作パネルやリモコンの［ON-OFF］ボタンで電源を切っても、約9Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグをACコンセントから抜いてください。

注 意

基本操作

電源を入れる

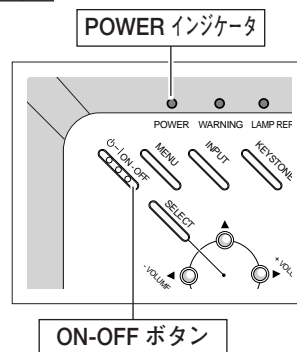
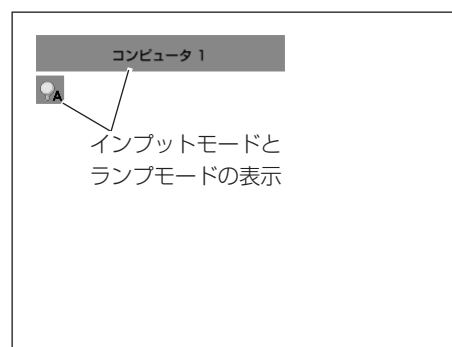
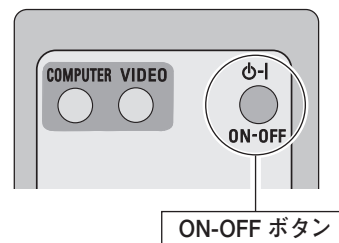
電源コードをつなぐ前に、14、20～22ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

1 電源コードを ACコンセントに接続します。☞23ページ
［POWER］インジケータが点灯します。

2 リモコンまたは操作パネルの［ON-OFF］ボタンを押して電源を入れます。*
［POWER］インジケータが赤から緑の点灯にかわります。
約30秒間のオープニング画面とそのカウントダウン ✱ が終わると画像が映せます。
スタート時、「ランプモード」（☞53ページ）と「インプットモード」の表示が約4秒間出ます。
このとき、「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の、「暗証番号ロック」（☞54ページ）を「オン」にしているときは、暗証番号を入力します。
※ 暗証番号の入力方法は次ページを参照ください。

* セッティングメニューで「オンスタート・オン」に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

✱ セッティングメニューで、
- 「オンスクリーン表示・オン」（☞48ページ）、「ロゴ選択・オフ」（☞49ページ）に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出ません。
- 「オンスクリーン表示・オフ」（☞48ページ）に設定しているときは、「ロゴ選択」（☞49ページ）の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。
- 「オンスクリーン表示・カウンドダウンオフ」（☞48ページ）に設定しているときは、「ロゴ選択」（☞49ページ）の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。

操作パネル

リモコン

電源を切った後、約90秒間*は電源が入りません

電源を切った後、約90秒間*は、次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［POWER］ボタンを押しても電源は入りません。
90秒*経ち、［POWER］インジケータが赤く点灯すれば電源を入れることができます。
* 「ファン」モードを「L2」に設定しているときは約120秒間かかります。（工場出荷時は「L2」に設定されています）☞56ページ

ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

操作パネルやリモコンの［POWER］ボタンで電源を切っても、約9Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグをACコンセントから抜いてください。

電源を入れる、つづき

暗証番号の入力

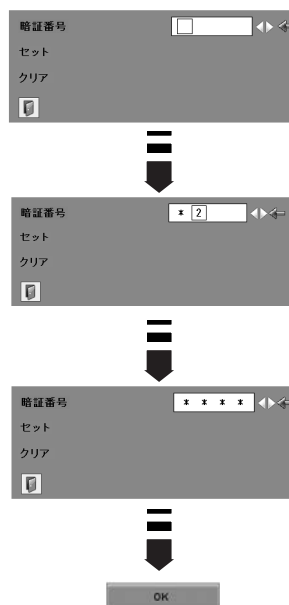
① 「暗証番号ロック」が「オン」のとき、前ページ「2」でカウントダウン＊が終わったあと、暗証番号を入れる画像があらわれます。

② ［ポイント］ボタンの左右で0〜9の数字を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、数字の表示が「＊」に変わります。これで1けた目が決定されました。
この操作を繰り返し、「＊」が4つ並んでいれば、4けた全ての数字が決定しています。

③ 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押します。
※ 数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタン下で「クリア」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「＊」が消え入力をやりなおすことができます。

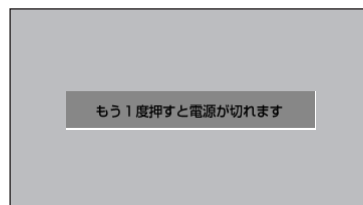
④ 正しく入力されていると、「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作することができます。
※ 正しい暗証番号が入力されないと、約3分後に電源が切れます。

「暗証番号ロック」とは？

管理者以外の暗証番号を知らない第三者によるプロジェクターの操作を防止します。
詳しくは54ページの「セッティング」メニューの、「セキュリティ」内の「暗証番号ロック」を参照ください。

電源を切る

※ 表示は約4秒間出ます。

1 リモコンまたは操作パネルの［ON-OFF］ボタンを押すと、画面に「もう1度押すと電源が切れます」の表示が出ます。

2 表示が出ている間に再度［ON-OFF］ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると［POWER］インジケータが緑色から赤の点滅にかわり、ランプの冷却を始めます。

電源を切った後、約90秒間*は電源が入りません

電源を切った後、約90秒間*は、次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［ON-OFF］ボタンを押しても電源は入りません。約90秒*経ち、［POWER］インジケータが赤く点灯すれば電源を入れることができます。

＊「セッティング」メニューの「ファン」を「L2」に設定しているときは約120秒間かかります。（工場出荷時は「L2」に設定されています） ☞56ページ

ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、［ON-OFF］ボタンで操作してください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

冷却ファンについて

投映している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り替わりますが、故障ではありません。また、電源を切った後の、ファンの回転速度は調節することができます。 ☞56ページ

ケースなどにしまう前に

本機は［ON-OFF］ボタンを押して電源を切って、すぐに電源コードをプロジェクターから抜くことができますが、ランプの冷却は継続されています。プロジェクターがじゅうぶんに冷えてから、ケースなどに入れるようにしてください。

パワーマネージメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

※ 工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。 ☞52ページ

ランプ消灯までの時間

パワーマネージメントモードになると、［POWER］インジケータが点滅を始めます。

パワーマネージメントの動作について

設定が「待機」のとき

1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は［POWER］インジケータが赤く点滅し、プロジェクターの操作はできません。
2）ランプの冷却が完了すると［POWER］インジケータが緑色の点滅を始め、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態のときに、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。

設定が「シャットダウン」のとき

1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却が始まります。ランプ冷却中は［POWER］インジケータが赤く点滅し、プロジェクターの操作はできません。
2）ランプの冷却が完了すると 、電源が切れます。

プロジェクターを24時間以上連続して使用しないでください。連続して使用する場合24時間に一度電源を切り、1時間休ませてください。
続けて使用すると、ランプの寿命を縮める原因となります。

投映画面を調整する

キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する(KEYSTONE)

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

リモコンまたは操作パネルの［KEYSTONE］ボタンを押します。「キーストーン」表示が現われます。表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下左右で画面の台形ひずみを補正します。

※「キーストーン」表示が現れているあいだに、もう一度［KEYSTONE］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。

キーストーン

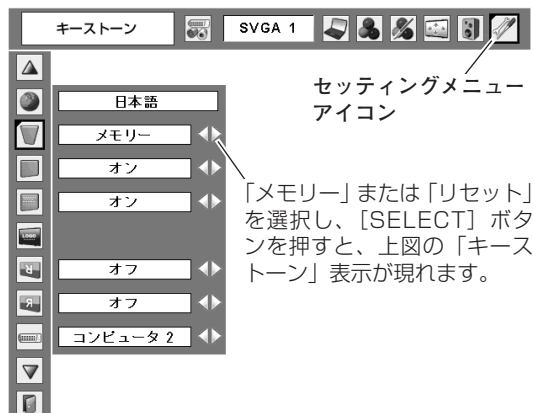
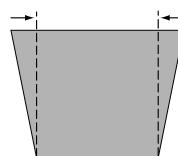
※ 表示は約10秒間出ます。
※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。
※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。（無補正の場合の表示は白色です。）
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

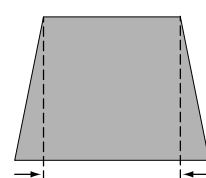
オンスクリーンメニューで操作するとき

☞30ページ：メニューの操作方法
☞48ページ：各種セッティング

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「セッティング」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「キーストーン」に合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。［ポイント］ボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。もう一度［SELECT］ボタンを押すと、キーストーン調整モードに入ります。画面に「キーストーン」表示が現われます。

3 表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。

ポイントボタン上

ポイントボタン下

※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

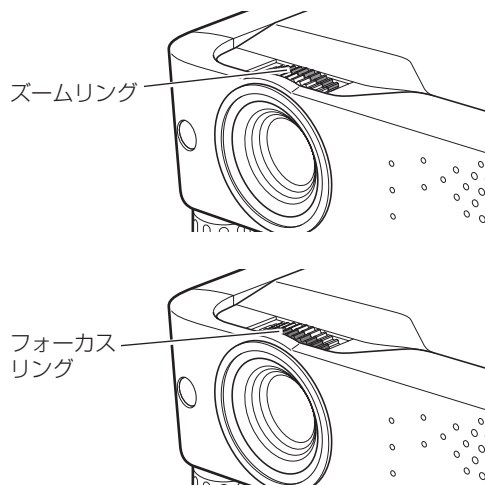
ズームとフォーカス

［リング］を回して、調節します。

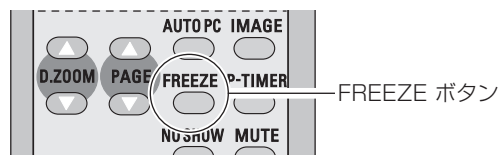
ズーム

［ズームリング］を回して、画面の大きさを調整をします。

フォーカス

［フォーカスリング］を回して、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

画面を一時的に静止させる（FREEZE）

リモコンの［FREEZE］ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。
※ ［FREEZE］ボタンは操作パネルにはありません。

こんなときに便利です
プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には［FREEZE］ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

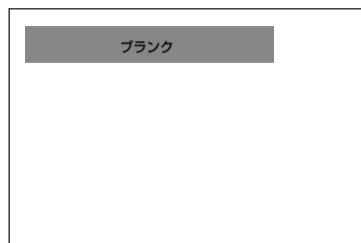
画面を一時的に消す (NO SHOW)

リモコンの［NO SHOW］ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投映画面を一時的に消すことができます。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。
※［NO SHOW］ボタンは操作パネルにはありません。

ロゴ画面を表示させることができます
［NO SHOW］ボタンを2回押します。
「セッティング」メニューの「ロゴ」内の「キャプチャー」（☞49ページ）を使い、「ロゴ選択　ユーザー」（☞49ページ)」を選択していると、設定したロゴ画面を表示させることができます。

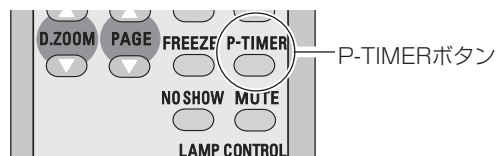
※ 表示は約4秒間出ます。
※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

こんなときに便利です
プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

プレゼン時に経過時間を表示する (P-TIMER)

リモコンの［P-TIMER］ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。
もう一度［P-TIMER］ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに［P-TIMER］ボタンを押すと解除されます。

※［P-TIMER］ボタンは操作パネルにはありません。

02 : 02

※00分00秒から最長59分59秒まで経過時間を画面表示できます。

こんなときに便利です
プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

音量を調節する・一時的に消音する (MUTE)

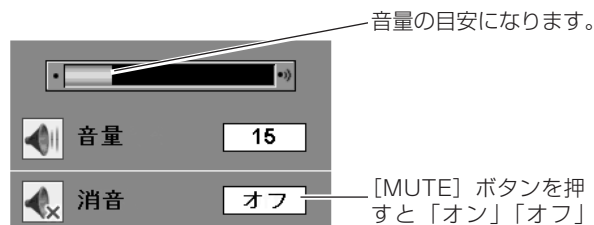
ダイレクトボタンで音を調節する

音　量

リモコンまたは操作パネルの［VOLUME］ボタン（+/–）で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

消　音

リモコンの［MUTE］ボタンを押すと、一時的に音が消えます。もう一度［MUTE］ボタンを押すか、［VOLUME］ ボタン（+/–）を押すと解除されます。

※［MUTE］ボタンは操作パネルにはありません。

※ 表示は約4秒間出ます。
※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

サウンドメニューで音を調節する

1. リモコンまたはコントロールパネルの［MENU］ボタンでメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「サウンド」メニューに合わせます。
2. ［ポイント］ボタンの上下で、お好みの項目にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。

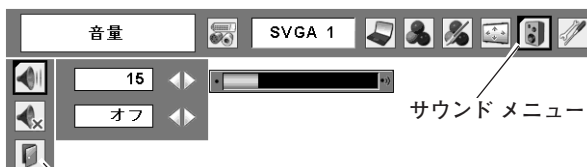
音　量

［ポイント］ボタン左で音量が小さくなり、［ポイント］ボタン右で音量が大きくなります。
音量のバーを目安に調節してください。

消　音

［ポイント］ボタン右または左で「オン」に切り替えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

※「オン」を選択していても、「音量」の数値を変更すると、自動的に「オフ」になります。

サウンドメニュー

オンスクリーンメニューの操作方法

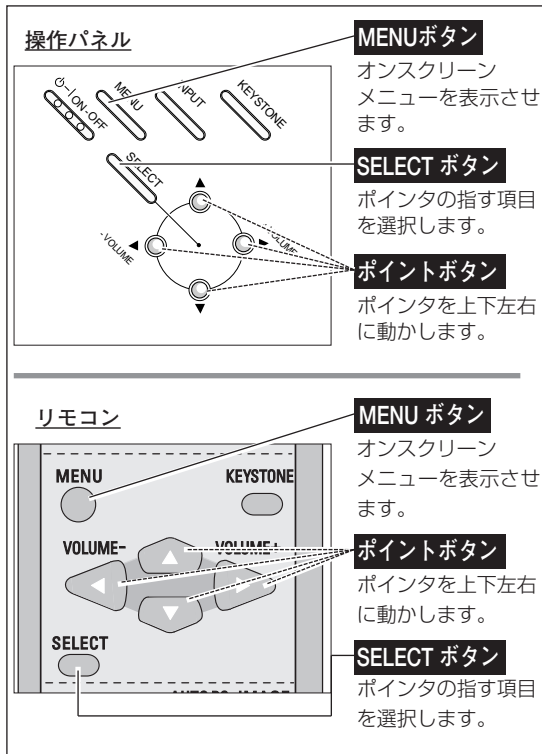
メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

①ポインタの動かし方

ポインタは、［ポイント］ボタンで上下左右に動かします。
［ポイント］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

②項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコン（操作をイメージした図）を選択するには、［SELECT］ボタンを押します。
［SELECT］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

1 ［MENU］ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。（☞31ページ）メニューバーには選択できるメニューがアイコン（操作をイメージした図）の形で一覧表示されます。
アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

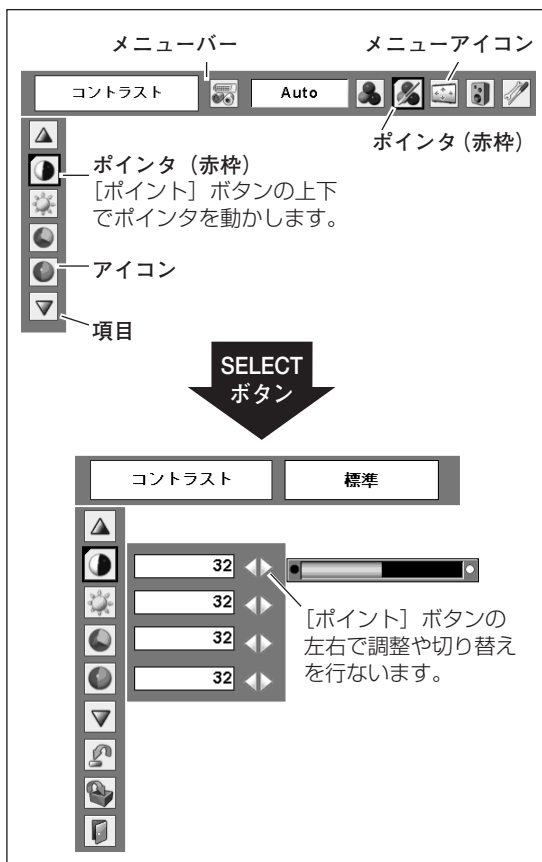
2 赤い枠のポインタを、［ポイント］ボタンの左右で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

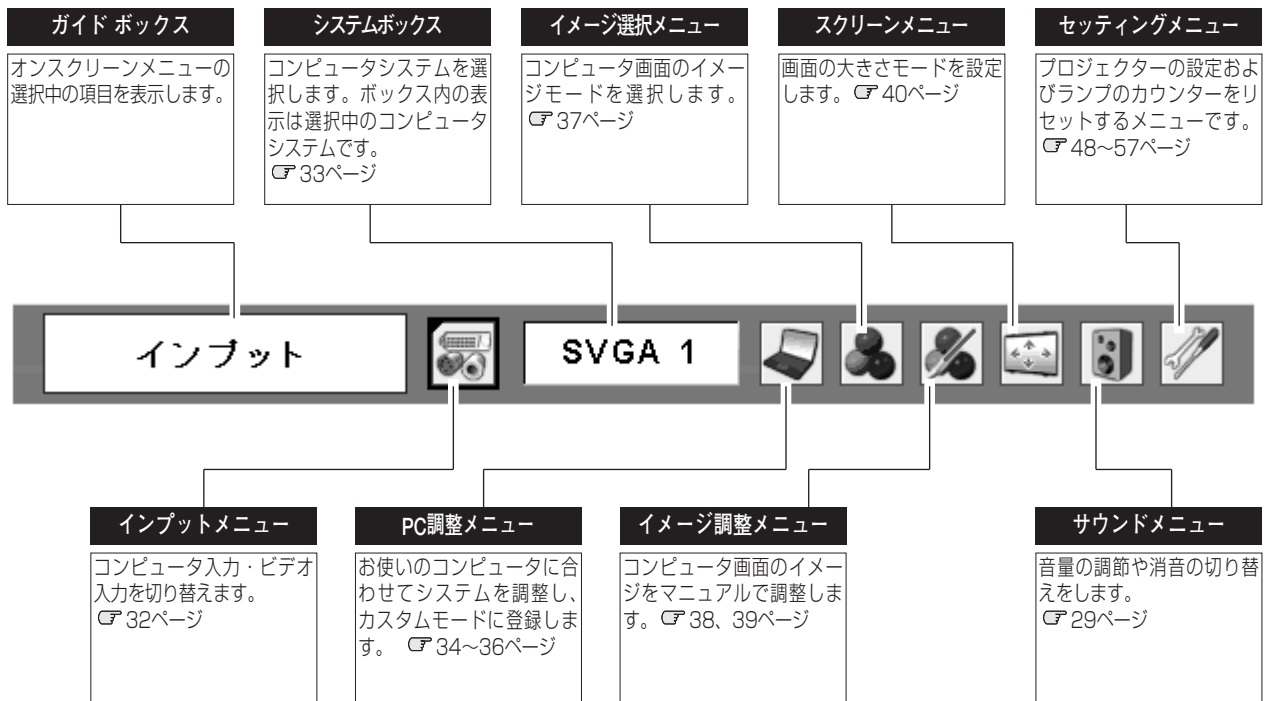
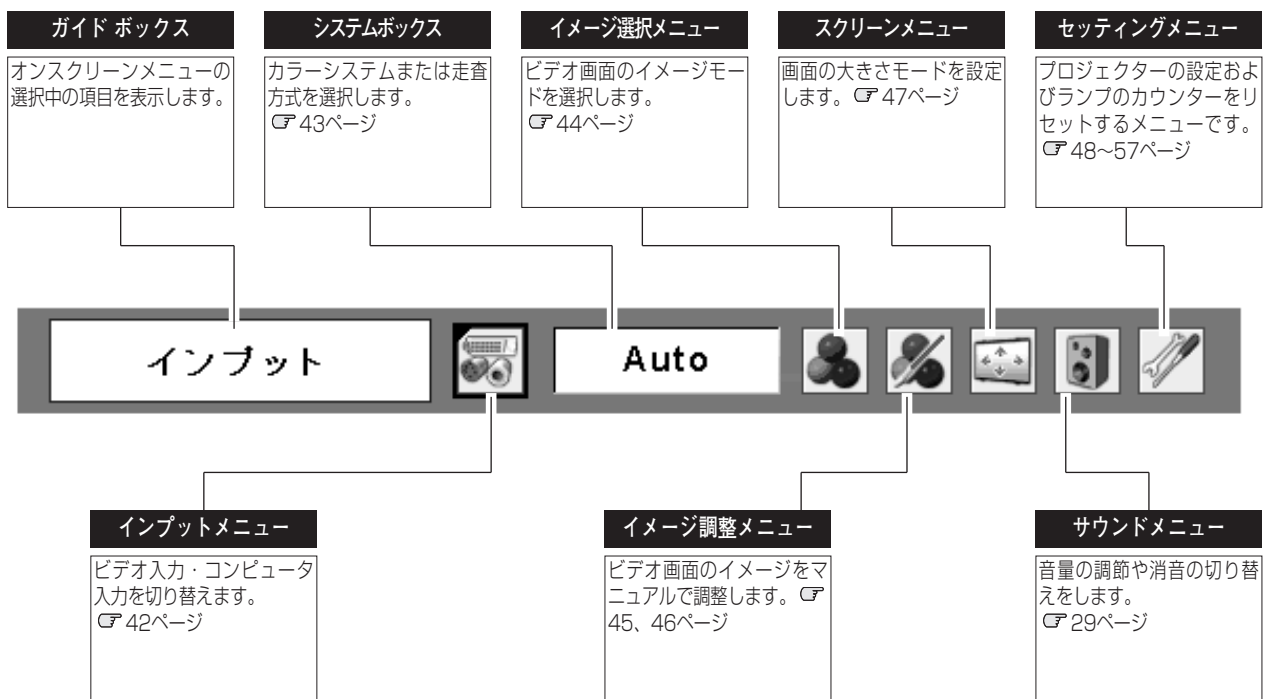
メニュー画面で調整や切り替えを行なう

3 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整する項目のアイコンに合わせます。

4 ［SELECT］ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。

5 ［ポイント］ボタンの左右で、調整や切り替えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。

※ これ以降のページで、メニューバーや各項目のアイコンについての説明をするとき、“アイコン”を省略するときがあります。

メニューバー

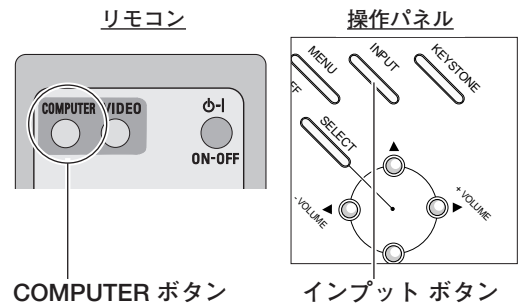
コンピュータ画面のメニューバー

ビデオ画面のメニューバー

コンピュータ入力に切り替える

ダイレクトボタンで入力を切り替える

リモコンの［COMPUTER］ボタン、または操作パネルの［INPUT］ボタンを押して、「コンピュータ 1」または「コンピュータ 2」を選択します。

※ ボタンを押すごとに切り換わります。

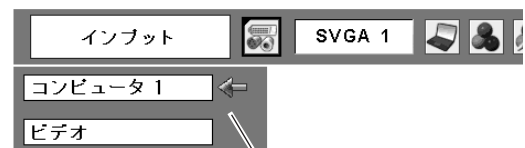
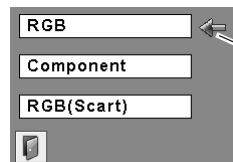
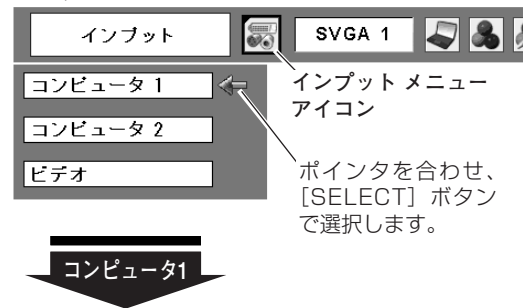
※ セッティングメニューの中の「端子」の設定で「モニター出力」を選択している場合は、「コンピュータ 2」 は表示されません。

入力切換 / INPUT ボタン

インプットメニューで入力を切り替える

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。

2 「コンピュータ 1」または「コンピュータ 2」に ポインタを合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。

3 「コンピュータ 1」は、ポインタを入力信号の種類に合わせ、［SELECT］ボタンで選んで下さい。

インプット メニュー

コンピュータ 1

［COMPUTER IN 1/ COMPONENT IN］端子に接続されている入力信号に合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。

RGB
Component
RGB(Scart)

ポインタを入力信号の種類へ合わせ、［SELECT］ボタンを押して選択します。

※「Component」は、ビデオ機器からのコンポーネント信号を［COMPUTER IN 1/ COMPONENT IN］に入力する場合に選択します。接続は、別売のD-sub/コンポーネント変換ケーブルを使用します。

※ 「RGB (Scart)」は、ビデオ機器からの信号（SCART 21ピン*）が［COMPUTER IN 1/ COMPONENT IN］に入力されている場合に選択します。

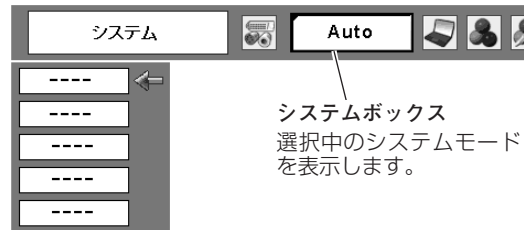
※ セッティングメニューの中の端子の設定で「モニター出力」を選択している場合は、「コンピュータ 2」は表示されません。

* SCART 21ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子のRGB出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器のSCART 21ピン端子とプロジェクターの［COMPUTER IN 1 / COMPONENT IN］を専用のケーブルで接続します。［COMPUTER IN 1 / COMPONENT IN］で再生される RGB SCART信号は、480i、575iのRGB信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

（マルチ スキャン システム）

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステム モード (VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・) を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投映することができます。 ☞65ページ
選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。

※ システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー

システムボックス
選択中のシステムモードを表示します。

システムボックスに表示されるメッセージ

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動PC調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投映されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。
☞35～36ページ

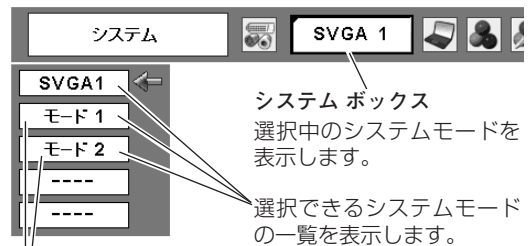
コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。 ☞14、20～22ページ

コンピュータ入力

システムモードをマニュアルで選択するとき

「カスタムモード※」を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて［SELECT］ボタンで選んでください。

※ カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。 ☞35、36ページ

システムメニュー

システム ボックス
選択中のシステムモードを表示します。

選択できるシステムモードの一覧を表示します。

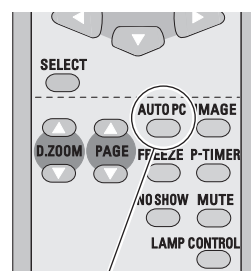
PC調整メニューで登録した「カスタムモード1～5」を表示します。

コンピュータシステムの調整

自動PC調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の4項目を自動調整することができます。

リモコンのダイレクトボタンで調整する

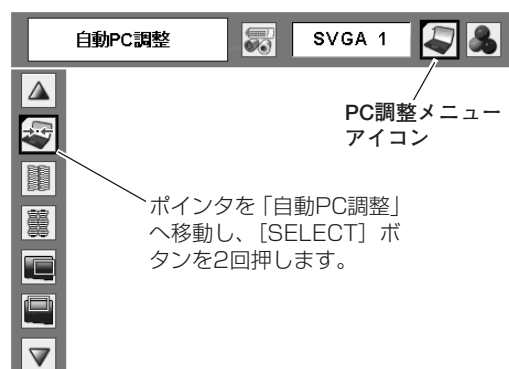
リモコンの［AUTO PC］ボタンを押します。

AUTO PC ボタン

メニューから調整する

自動PC調整

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「PC調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「自動PC調整」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、PC調整画面が出ます。［SELECT］ボタンをもう一度押して、自動調整を実行させます。

PC調整メニュー

※自動PC調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。

☞35、36ページ

※自動調整した内容を一度登録しておくと、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、次ページの「マニュアルPC調整の手順3」をごらんください。

※システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080iが選択されているときは、自動PC調整機能ははたらきません。

マニュアルPC調整（「カスタムモード」を登録する）

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーの「システムボックス」に「Auto」と表示され、画像が正しく投映されないときは、PC調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。登録した「カスタムモード」は、システムメニューで選択できます。「カスタムモード」は5つまで登録することができます。

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「PC調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

3 メモリー

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「PC調整データ登録」メニューが現われます。

② 登録したいモード（「モード 1 から 5」のいずれか）にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、「カスタムモード」へ登録され「PC調整データ登録メニュー」へ戻ります。さらに、［SELECT］ボタンを押すと「PC調整」メニューに戻ります。（ポインタは自動的に をさしています。）

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「PC調整データ登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

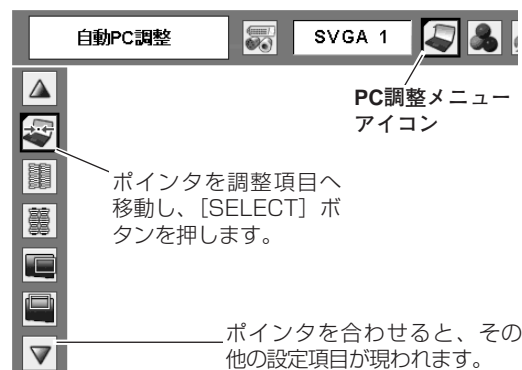
データ消去

① ポインタを「データ消去」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「PC調整データ消去」メニューが現われます。

② 消去したいモード（「モード 1 から 5」のいずれか）にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、「カスタムモード」の登録が解除され、「PC調整データ消去」メニューへ戻ります。さらに、［SELECT］ボタンを押すと「PC調整」メニューに戻ります。（ポインタは自動的に をさしています。）

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「PC調整データ消去」メニューへ戻ります。消去したいモードを選び直してください。

PC調整メニュー

PC調整データ登録メニュー

※「調整メニュー」の表示内容

リセット

① ポインタを「リセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

③ ポインタが「PC調整」メニューの に移動します。

メニューを終了します。

PC調整データ消去メニュー

項　目

トラッキング

トラッキング（同期）がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。（0から31まで）

※ コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

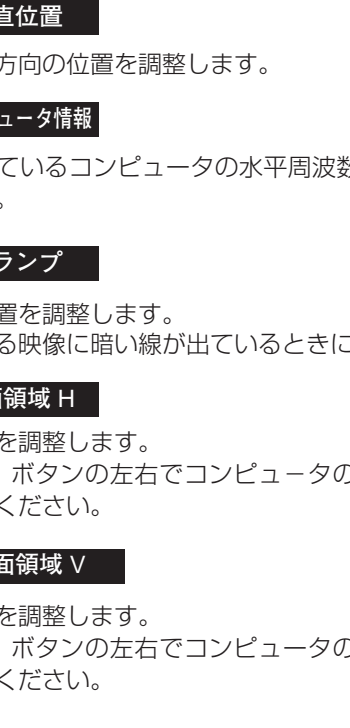
画面の垂直方向の位置を調整します。

コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

クランプ

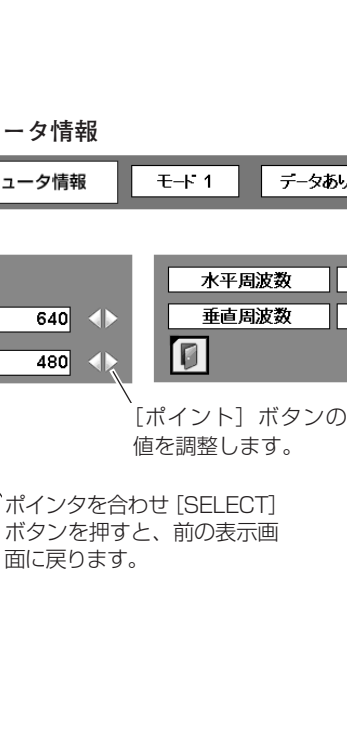
クランプ位置を調整します。
投映している映像に暗い線が出ているときに使います。

画面領域 H

水平解像度を調整します。
[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

画面領域 V

垂直解像度を調整します。
[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

コンピュータ情報

※ システムメニューで480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080iのシステムモードが選択されているときは、「画面領域 H / V」の調整はできません。

イメージの調整

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

［IMAGE］ボタンを押すごとに、イメージモードが「ダイナミック」「標準」「リアル」「黒（緑）板」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り替わります。

ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。

標　準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

黒（緑）板

教室などの緑色をした黒板に投映するとき、白いスクリーンに投映したときに近い色合いを再現します。

イメージ 1〜4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
☞次ページ

［IMAGE］ボタンを押すごとに切り替わります。

※表示は約4秒間出ます。
※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

1. ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。
2. ［ポイント］ボタンの上下でポインタをお好みの「イメージモード」に合わせ、［SELECT］ボタンで決定します。

イメージ選択メニュー

ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。

標　準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

黒（緑）板

教室などの緑色をした黒板に投映するとき、白いスクリーンに投映したときに近い色合いを再現します。

イメージ 1〜4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
☞次ページ

マニュアルでイメージ調整を行なう

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、その項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

3 メモリー

※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「イメージ調整登録」メニューが現われます。

② 登録したいイメージモードにポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと登録され、「イメージ調整登録」メニューへ戻ります。さらに、［SELECT］ ボタンを押すと「イメージ調整」メニューに戻ります。（ポインタは自動的に をさしています。）

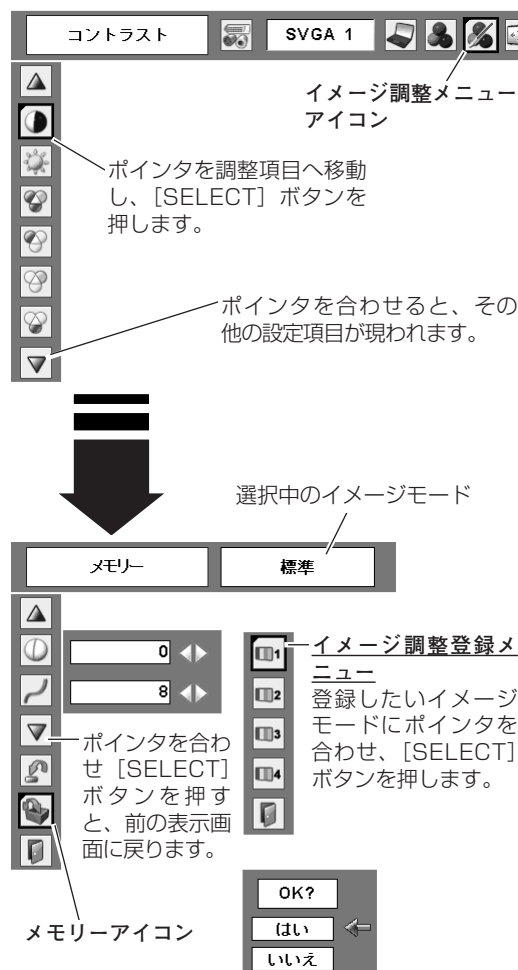
※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「イメージ調整登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

リセット

① ポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

③ ポインタが「イメージ調整」メニューの に移動します。

メニューを終了します。

項　目　［ポイント］ボタンの左（◀ ）右（ ▶）で調整します。

コントラスト

◀ うすくなる　▶ こくなる（0～63）

明るさ

◀ 暗くなる　▶ 明るくなる（0～63）

色温度

◀ 超低へ　▶ 高へ（超低ー低ー中ー高）

※ 超低（赤みがかる）～高（青みがかる）

※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。
※「ホワイトバランス」（赤/緑/青のどれか1つでも）の調整をすると「調整中」と表示されます。

ホワイトバランス（赤/緑/青）

◀ うすくなる　▶ こくなる（各色0～63）

画　質

◀ やわらかい　▶ くっきり（0～15）

ガンマ補正

［ポイント］ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。（0～15）

画面サイズを調整する

お好みにより、画像サイズを変えることができます。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「スクリーン」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタン上下で選択したい機能に合わせ、［SELECT］ボタンで決定します。

スクリーンメニュー

注) LP-XU73：1024x768 ドット
LP-SU70：800x600 ドット

 ノーマル

画像を有効投映画面注) の高さに合わせて投映します。

 リアル

画像をオリジナルサイズで投映します。画像サイズが有効投映画面注) よりも大きいときは、自動的に「デジタルズーム ＋」モードに入ります。

① 画像サイズが有効投映画面注) よりも小さいときは、画面の中央に投映し、その左上に『リアル』の表示が現れます。

② 画像サイズが有効投映画面注) と同じときは、画面の左上に『リアル』の表示が現れますが、その後『ノーマル』になります。

③ 画像サイズが有効投映画面注) よりも大きいときは、画面の左上に『リアル』の表示が現れ、画面の上下左右に△が表示されます。［ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させます。

※ 「リアル」を選択しているとき、「デジタルズーム ＋・－」は選択することができません。

 ワイド

画像を有効投映画面注) の幅に合わせ、横16：縦9のワイド画面で投映します。

フルスクリーン

横4：縦3 のフルスクリーンサイズで投映します。
※ 「フルスクリーン」を選択しているとき、「デジタルズーム ＋・－」は選択することができません。

デジタルズーム ＋

「デジタルズーム＋」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom ＋」表示が現われます。
［SELECT］ボタンを押すごとに画像が拡大します。
［ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させます。
画像の移動機能は、画像サイズが有効投映画面注) よりも大きいときのみはたらきます。
リモコンの［D.ZOOM ▲］ボタンを押しても画像の拡大ができます。

デジタルズーム －

「デジタルズーム －」を選択するとメニューバーが画面から消え、
「D.Zoom －」表示が現われます。
［SELECT］ボタンを押すごとに画像が縮小します。
リモコンの［D.ZOOM ▼］ボタンを押しても画像の縮小ができます。

※「デジタルズーム」モードから抜けるときは、［D.ZOOM、SELECT、ポイント］以外のボタンを押します。
※「ノーマル」モードへもどるときは、ポインタを「ノーマル」モードに合わせ［SELECT］ボタンを押します。
※ システムメニューで 720p 、1035i、1080iのシステムモードが選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。
※ システムメニューで 480i、575i、480p、575p のシステムモードが選択されているときは、「ノーマル」と「ワイド」のみ選択することができます。
※ 本機はUXGA（1600×1200ドット）を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度がUXGA (1600×1200ドット) を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。
※ 有効投映画面注) 以外の画像データは、初期画面で有効投映画面注) に合うように自動的に画像サイズが変換されます。
※ PC調整メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム +」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらかないことがあります。
※ システムモード（☞33ページ）で「VGA、SVGA、SXGA、WXGA、UXGA」が選択されていて、上部への「キーストーン」調整が最大値のとき、「デジタルズーム －」が正しくはたらかないときがあります。

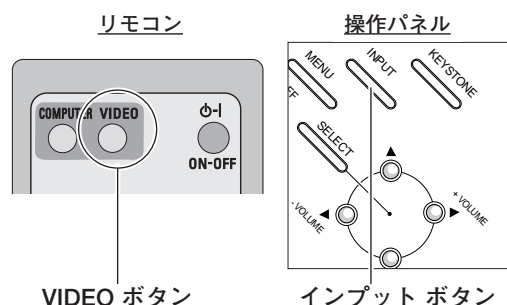
VIDEO / S-VIDEO 入力に切り替える

ダイレクトボタンで入力を切り替える

リモコンの［VIDEO］ボタン、または操作パネルの［INPUT］ボタンを押して、「ビデオ」に切り換えます。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、インプット メニューで正しい入力信号を選んでください。（下記参照）

※ ボタンを押すごとに切り換わります。

※ セッティングメニューの中の「端子」の設定で「モニター出力」を選択している場合は、「コンピュータ 2」 は表示されません。

インプットメニューで入力を切り替える

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ビデオ」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「信号選択」メニューが現われます。

3 ポインタを入力信号の種類に合わせ、［SELECT］ボタンで選んでください。

※ 2台のビデオ機器を接続しているときは、信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入 (信号の有無ではない) を検知して、
1）S-Video、2）Video の接続順位で入力端子を自動選択します。
接続されている入力端子が選択されないときは、信号選択メニューでポインタを合わせ、［SELECT］ボタンで選択してください。

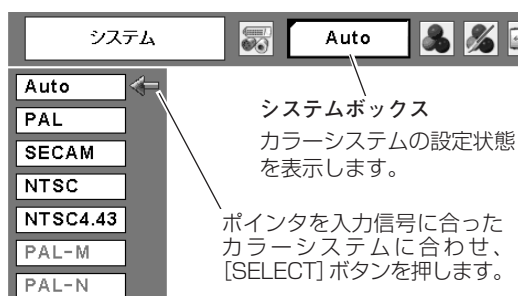
信号選択メニュー (ビデオ)
ポインタを入力信号の種類に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

※ ［COMPUTER IN 1/COMPONENT IN］に、ビデオ機器からのコンポーネント信号を接続しているときは、「コンピュータ1」から「Component」を選択します。 ☞32ページ

カラーシステムや走査方式を選択する

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「システム」メニューに合わせます。

2 ポインタを入力信号に合ったカラーシステムまたは走査方式に合わせ、［SELECT］ボタンで選んでください。

システム メニュー
（コンポジット映像またはS映像入力時）

システムボックス
カラーシステムの設定状態を表示します。

ポインタを入力信号に合ったカラーシステムに合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

Auto（自動）

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。

※ 「PAL-M」「 PAL-N」は自動選択されません。上記「*1*」「*2*」の手順で選択してください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムはNTSCです。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

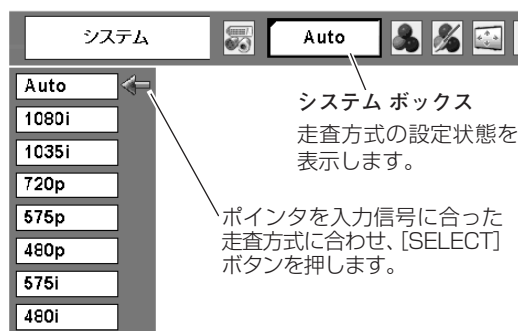
コンポーネント入力選択時

Auto（自動）

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、メニュー の中から正しい走査方式を選んでください。

システムメニュー（コンポーネント映像入力時）

システム ボックス
走査方式の設定状態を表示します。

ポインタを入力信号に合った走査方式に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

イメージの調整

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

［IMAGE］ボタンを押すごとに、イメージモードが「ダイナミック」「標準」「シネマ」「黒（緑）板」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り替わります。

ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。

標　準

「コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション、プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

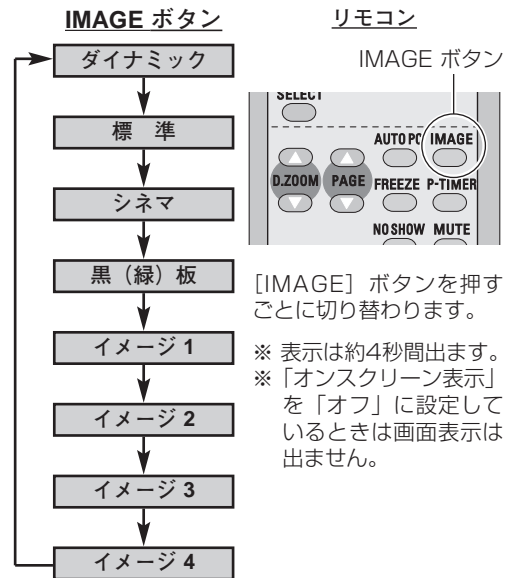
黒（緑）板

教室などの緑色をした黒板に投映するとき、白いスクリーンに投映したときに近い色合いを再現します。

イメージ 1〜4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
☞次ページ

［IMAGE］ボタンを押すごとに切り替わります。

※ 表示は約4秒間出ます。
※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

1. ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。
2. ［ポイント］ボタンの上下でポインタをお好みの「イメージモード」に合わせ、［SELECT］ボタンで決定します。

ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。

標　準

「コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション、プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

黒（緑）板

教室などの緑色をした黒板に投映するとき、白いスクリーンに投映したときに近い色合いを再現します。

イメージ 1〜4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
☞次ページ

イメージ選択メニュー

マニュアルでイメージ調整を行なう

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、その項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

イメージ調整メニュー

3 **メモリー**

※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「イメージ調整登録」メニューが現われます。

② 登録したいイメージモードにポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、登録され「イメージ調整登録」メニューへ戻ります。さらに、［SELECT］ボタンを押すと「イメージ調整」メニューに戻ります。（ポインタは自動的に をさしています。）

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「イメージ調整登録」メニューへ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

リセット

① ポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

③ ポインタが「イメージ調整」メニューの に移動します。

メニューを終了します。

項　目　［ポイント］ボタンの左（◀）右（▶）で調整します。

コントラスト

◀ うすくなる　▶ こくなる（0〜63）

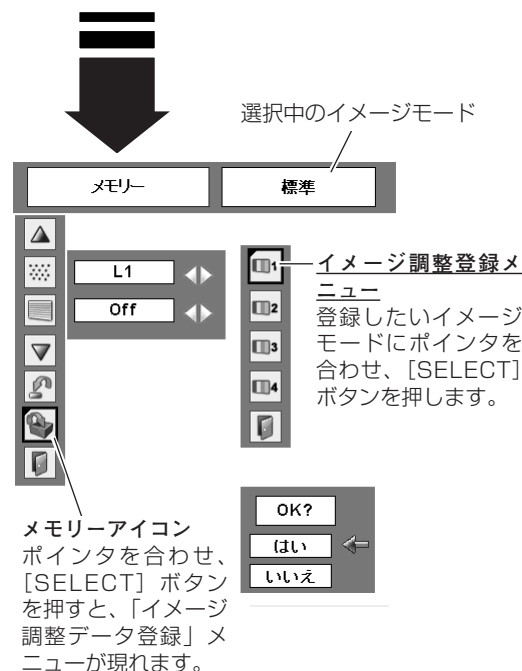
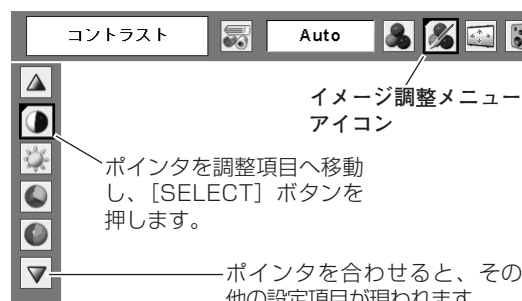
明るさ

◀ 暗くなる　▶ 明るくなる（0〜63）

色の濃さ

◀ うすくなる　▶ こくなる（0〜63）

ビデオ入力

色合い

◀ 紫がかる　▶ 緑がかる（0〜63）

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。

色温度

◀ 超低へ　▶ 高へ（超低ー低ー中ー高）

※ 超低（赤みがかる）〜高（青みがかる）

※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。
※「ホワイトバランス」（赤/緑/青のどれか1つでも）の調整をすると「調整中」と表示されます。

ホワイトバランス（赤/緑/青）

◀ うすくなる　▶ こくなる（各色0〜63）

画　質

◀ やわらかい　▶ くっきり（0〜15）

ガンマ補正

［ポイント］ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。（0〜15）

ノイズリダクション

古いビデオやノイズの多い映像を見るとき、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

L1・・・ノイズリダクション：弱

L2・・・ノイズリダクション：強

※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p、の信号を選択しているときは、「ノイズリダクション」は選択できません。

ノイズリダクションの使い分け

ノイズリダクションを使用すると、動きの早い映像をみるとき、残像が発生することがあります。

- 動きの早い映像（アクション映画など）のときは「L1」（弱）に設定する。
- 動きの遅い映像のときは「L2」（強）に設定する。

プログレッシブ

オフ・・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

L1・・・・プログレッシブスキャンを「ON」にします。（動画のとき）

L2・・・・プログレッシブ スキャンを「ON」にします。（静止画のとき）

フィルム・・「3-2 プルダウン / 2-2 プルダウン」された映画を投映するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p、の信号を選択しているときは、「プログレッシブ」は選択できません。

画面サイズを選択する

お好みにより、画面サイズを2種類の中から選択できます。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「スクリーン」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下で選択したい機能に合わせ、［SELECT］ボタンで決定します。

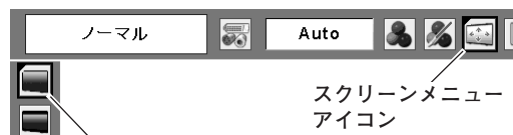
スクリーンメニュー

 ノーマル

通常の映像のアスペクト比 (横：縦) 4：3 で投映します。

 ワイド

DVDプレーヤ等のワイドモードで出力された映像信号を、アスペクト比 16：9 のワイド画面で投映します。

※「システム」メニューで1080i、1035iまたは720pの信号（アスペクト比16：9）が選択されているときは、「スクリーン」メニューは機能しません。

各種セッティング

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「セッティング」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを設定する項目に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
選んだ項目の設定画面が現われます。

セッティング メニュー

言　語

画面表示の言語を切り替える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、ハンガリー語、ルーマニア語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の16か国語の中から選べます。

キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。［ポイント］ボタンで「リセット」または「メモリー」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、画面からメニュー表示が消えて「キーストーン」表示が現われます。［ポイント］ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。「メモリー」、「リセット」は以下のはたらきをします。

メモリー ・・・電源コードを抜いても調整した状態を記憶します。

リセット ・・・電源コードを抜くと調整した状態がリセットされます。

※ 「キーストーン」表示が現れているあいだに、［KEYSTONE］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

ブルーバック

信号のないときにブルーの画面を出す機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずにブルーの画面を映します。

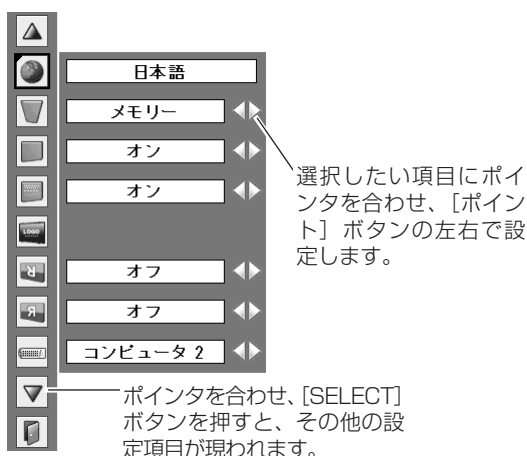
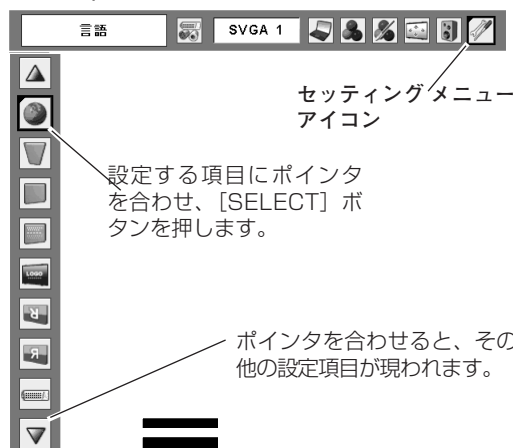
オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

オン ・・・すべての画面表示を出します。
ある程度投映画面が明るくなってから、映像を映したいときに選択します。

カウントダウンオフ ・・・ランプ点灯後30秒のカウントダウンを表示せず、すぐに投映します。
投映画面が少し暗くても早く映像を映したいときに選択します。

オフ ・・・以下の画面表示以外は出しません。
- メニューバー表示 ☞31ページ
- 電源を切るときの、「もう1度押すと電源が切れます」の表示
- P-TIMER表示 ☞28ページ
- 自動PC調整の「しばらくお待ち下さい」の表示
- パワーマネージメント時のタイマー表示 ☞52ページ
- 画面サイズが大きいとき表示される「△」の矢印 ☞40ページ

ロ ゴ

ロゴ選択。画面のキャプチャー、ロゴ選択の暗証番号の設定をします。

※「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」のとき、「ロゴ選択」と「キャプチャー」は設定できません。☞50ページ

ロゴ選択

電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。

ユーザー ・・・キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

初期設定 ・・・工場出荷時の設定を表示します。

オフ ・・・・・ ロゴ表示を画面に出しません。

キャプチャー

投映している画面を取り込んで、スタートアップロゴにすることができます。
取り込んだ画像をスタートアップロゴにするときは、「ロゴ」機能で「ユーザー」を選択してください。（上記「ロゴ選択」参照）

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「キャプチャー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

はい ・・・・画面の取り込みを始めます。

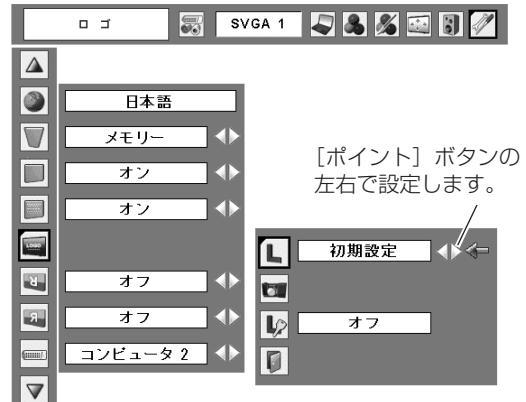
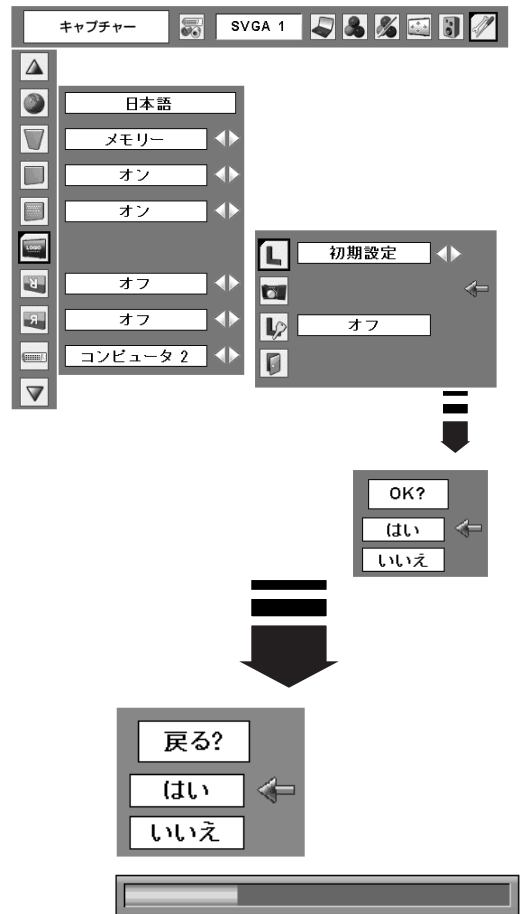
いいえ ・・・キャプチャー機能を取り消します。

2 はい を選択すると、取り込みを始めます。
取り込みの進行を示すバーが現れます。
取り込みが完了するとメニュー表示は消えます。
このとき、取り込みを中止したいときは、バーの上にある「戻る？」の はい ＊ を選択し［SELECT］ボタン押します。

※ 「ユーザー」へ保存できるのは１画面のみです。
※ 適切な画面を取り込むために、イメージモードは標準を選択しておいてください。
※ 画像を取り込むときは「キーストーン」調整を一時的に解除します。
※ この機能が使えるのは以下の信号のときです。
コンピュータ・・・XGA以下（ただし、「画面領域」を1280 x 1024ドットなどに設定すると不可）
ビデオ・・・コンポジット、Sビデオ、480p、575p、480i、575i

ご注意＊

「戻る？」で「はい」を選択すると、すでに「ユーザー」に保存していた画像の登録も削除されます。

ロゴ選択

キャプチャー

ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」の設定・変更を暗証番号を持つ管理者以外できなくします。設定により以下のモードが選択できます。

オン ・・・暗証番号を入れないと「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更はできません。

オフ ・・・暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更ができます。

手　順

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ロゴ暗証番号ロック」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が現れます。

※「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面は表示されます。

2 暗証番号を入力します。

3 暗証番号が承認されると、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。
「オン・オフ」は［ポイント］ボタンの左右で切り替え、選択します。
暗証番号の変更は次ページを参照ください。

4 終了するときは、［ポイント］ボタン下でポインタを に移動し、［SELECT］ボタンを押します。

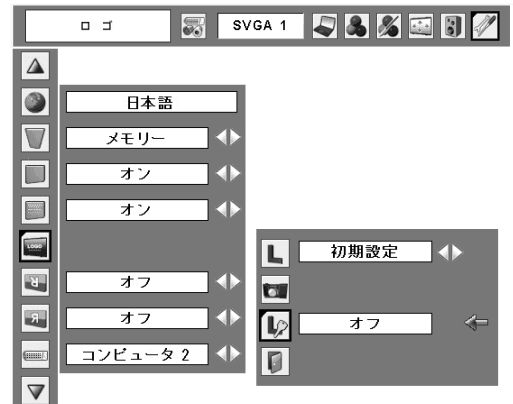
暗証番号の入力方法

1 ［ポイント］ボタンの上下で「ロゴ暗証番号」を選択します。
「ロゴ暗証番号」の最初のけたが選択されます。

2 ［ポイント］ボタンの左右で0〜9の数字を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、数字の表示が「＊」に変わります。
これで１けた目が決定されました。
この操作を繰り返し、「＊」が4つ並んでいれば、4けた全ての数字が決定しています。

※ 工場出荷時の暗証番号は、「4321」です。
※ 数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタン下で「クリア」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「＊」が消え入力をやりなおすことができます。

3 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押すと「ロゴ暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。☞上記『手順*3*』

ロゴ暗証番号ロック

ロゴ暗証番号　＊ ＊ ＊ ＊
セット
クリア

次ページへ

暗証番号を変更する

1 ［ポイント］ボタンの上下で「ロゴ暗証番号変更」を選択します。「新ロゴ暗証番号」の最初のけたが選択されます。

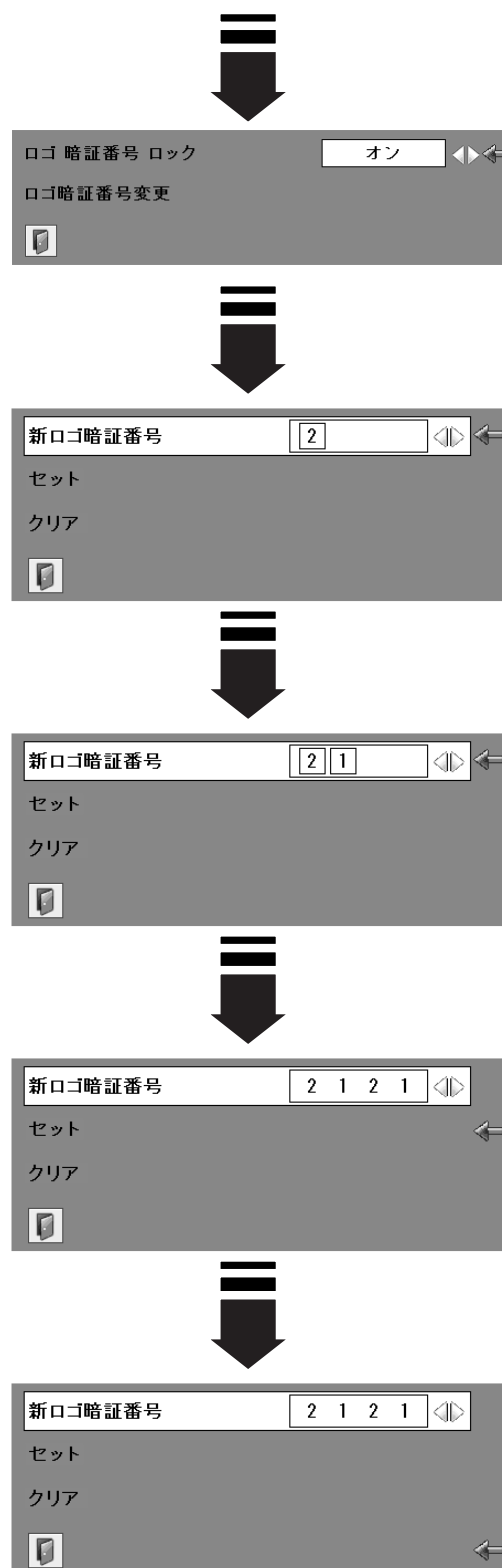
2 ［ポイント］ボタンの左右で0～9の数字を選択し、［SELECT］ボタンを押し、新しい4けたの暗証番号を入力・決定します。この操作を繰り返し、4けた全ての数字を決定します。

※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

3 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押すとポインタが自動的に に移動します。これで新しい暗証番号が登録されました。

このとき、［SELECT］ボタンを押すと、入力画面から抜けることができ、「ロゴ暗証番号ロック」メニューの画面まで戻ります。

メモ

・入力を中断し、この機能を操作するのをやめるときは、［ポイント］ボタンの上下で ［アイコン］ を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「ロゴ暗証番号変更」メニューの画面まで戻ります。
・数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタン下で「クリア」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、入力をやりなおすことができます。
・以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
  ・「ロゴ暗証番号」と入力した数字(見た目は「＊」)とその枠が赤く表示された。
  ・「ロゴ暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。
  ・「新ロゴ暗証番号」と入力した数字とその枠が赤く表示された。
  ・「新ロゴ暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。

天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
　詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

天吊り機能

オフ (通常の画像)　→　オン (天吊り設定時)

リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。

リア投映機能

オフ (通常の画像)　→　オン (リア投映設定時)

端　子

本機の後ろにある［CONPUTRE IN 2/MONITOR OUT］端子の切り替えを行ないます。入力端子として端子を使用するためには、「コンピュータ 2」を、「コンピュータ 1」の出力端子として使用するためには、「モニター出力」を選んでください。

※ 工場出荷時は「コンピュータ 2」に設定されています。

パワーマネージメント

パワーマネージメント機能の動作設定を行ないます。

オフ ・・・・・・・ パワーマネージメント機能を解除します。

待機 ・・・・・・・設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると［POWER］インジケータが緑の点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。

シャットダウン ・・設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。

ランプ消灯までの時間

タイマーの設定

- ［ポイント］ボタンの左右でパワーマネージメント機能が動作を開始するまでの時間を設定します。1～30分の範囲で設定できます。
- パワーマネージメント動作詳細については26ページを参照ください。

※ 工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。
※ 「FREEZE（☞28ページ）」または、「NO SHOW（☞28ページ）」機能がはたらいているときは、パワーマネージメントは動作しません。
※ パワーマネージメントがはたらくと、「P-TIMER（☞28ページ）」はリセットされます。

オンスタート

電源コードを接続すると、リモコンや操作パネルの［ON-OFF］ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

オン ・・・電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

オフ ・・・通常の電源の入り・切りを行ないます。電源コードを接続しても、リモコンまたは操作パネルの［ON-OFF］ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

電源オン・オフは正しい操作で行なってください。

ランプの冷却が終わり、再点灯できる状態になるまで［ON-OFF］ボタンを押しても電源は入りません。

ランプコントロール

ランプの明るさを「ノーマルモード」、「オートモード」、「エコモード」の3段階で切り替え・選択することができます。「エコモード」は、ランプの消費電力を抑えることができます。

 明るい表示・・・**ノーマルモード**

 明るい表示に「A」・・・**オートモード**

 上部がグレーの表示・・・**エコモード**

※［ポイント］ボタン右で ➔ ➔ の順に表示が切り替わります。

※「オートモード」は調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。

リモコンコード

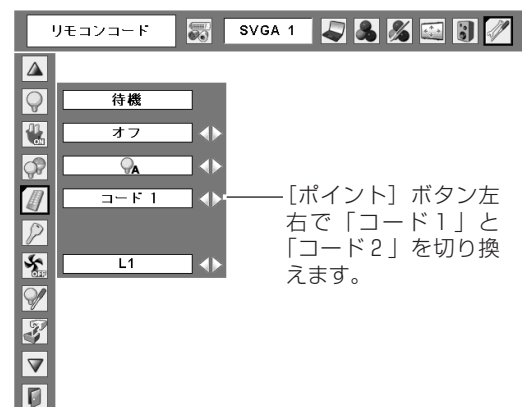
本機は2種類の異なるリモコンコードで操作することができます。工場出荷時は「コード 1」に設定されており、2台目のプロジェクター用（拡張用）として「コード 2」に設定することができます。本機を2台ご使用の場合、リモコンコードを別々に設定しておくと、誤動作防止になります。

コード1 ・・・1台目のプロジェクター用に使用します。

コード2 ・・・2台目のプロジェクター用（拡張用）に使用します。

※ ［ポイント］ボタンの左右で「コード１」と「コード２」を切り換えます。

※ 本機（プロジェクター）を「コード２」に設定した場合、リモコン本体のコードも「コード２」に切り換える必要があります。 ☞17ページ

［ポイント］ボタン左右で「コード１」と「コード２」を切り換えます。

セキュリティ

操作ボタンのロックと、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「セキュリティ」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、項目を選択する画面が現れます。

2 ［ポイント］ボタンの上下で項目を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、設定画面が現れます。
※ 設定の詳細は、各項目を参照してください。

キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

・・・ 操作パネルからの操作をロックします。
・・・リモコンの操作をロックします。
・・・キーロックは「**オフ**」の状態です。

※ 工場出荷時は「**オフ**」に設定されています。

※ 操作パネルをロックしてしまい、手元にリモコンがないときは、一度電源コードを抜いて、［SELECT］ボタンを押しながら、電源コードをさし、プロジェクターの電源を入れると、キーロックが解除されます。

キーロック

手　順

上記「*1*〜*2*」に続いて、

3 ポインタをいずれかに合わせ、［SELECT］ボタンを押すと「OK？」の表示が現れます。

4 「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、登録が完了し、設定画面へ戻ります。
※「いいえ」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、選択画面に戻ります。設定する項目を選び直してください。

暗証番号ロック

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外のプロジェクターの操作を防止します。設定により以下のモードが選択できます。
☞25ページ

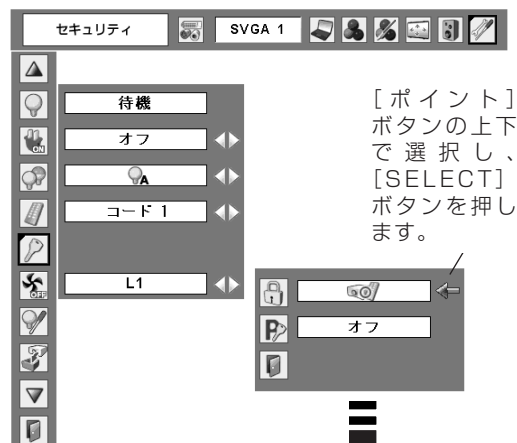
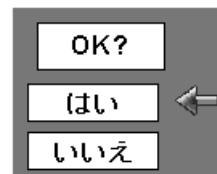
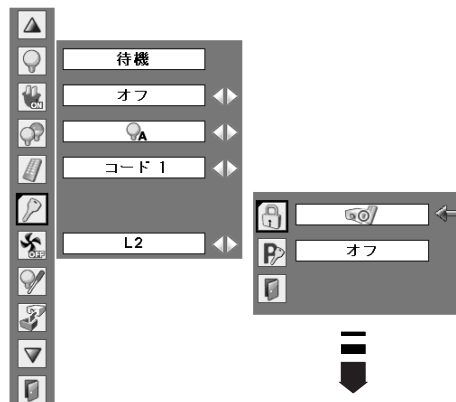
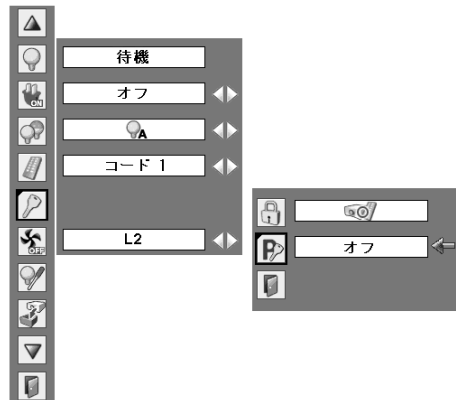
オフ ・・・「暗証番号ロック」を解除します。通常の操作をすることができます。

オン1 ・・・電源を入れるときに暗証番号が要求されます。

オン2 ・・・一度入力した暗証番号は、電源コードを抜くまで有効です。一度電源コードを抜くと、その次に電源を入れるときに暗証番号が要求されます。［ON-OFF］ボタンで電源の入り・切りをするだけで、電源コードを抜かないときは、暗証番号が要求されることなく、通常の操作をすることができます。

暗証番号ロック

※ 手順は次ページへ

手　順

前ページ「*1*〜*2*」に続いて、

3 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「暗証番号ロック」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと暗証番号を入力する画面が現れます。

4 暗証番号を入力します。
※ 下記「暗証番号の入力方法」を参照ください。

5 暗証番号が承認されると、「暗証番号」の「オン1・オン2・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。
「オン1・オン2・オフ」は［ポイント］ボタンの左右で切り替え、選択します。
暗証番号の変更は次ページを参照ください。

6 終了するときは、［ポイント］ボタン下でポインタを に移動し、［SELECT］ボタンを押します。

暗証番号の入力方法

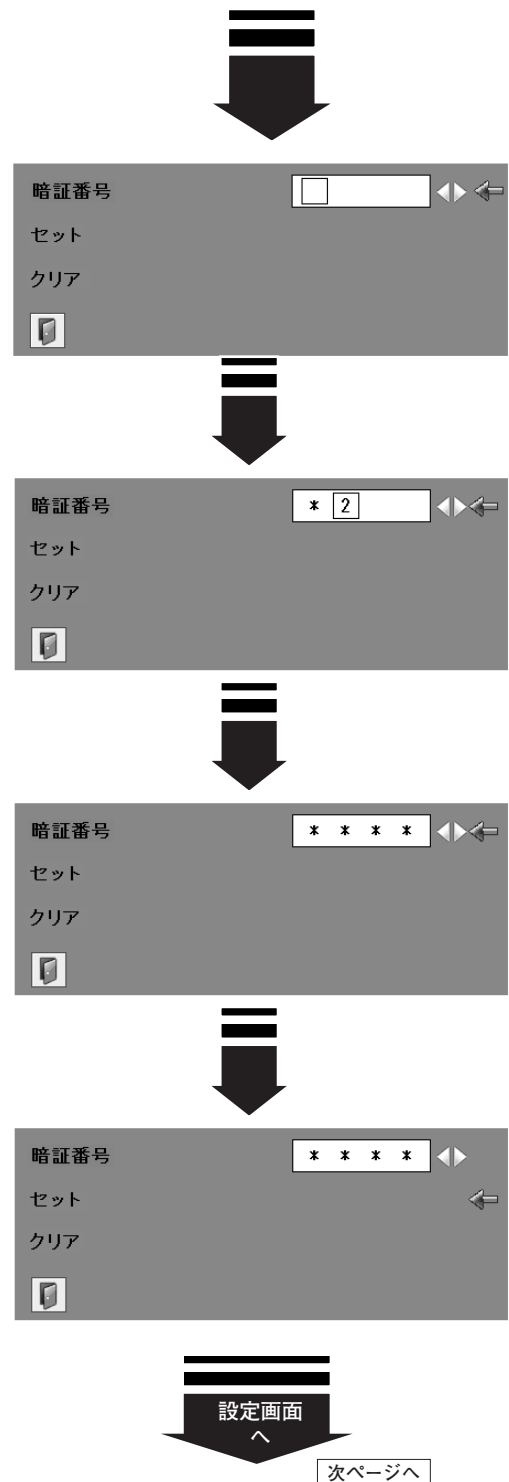
1 ［ポイント］ボタン上下で「暗証番号」を選択します。
「暗証番号」の最初のけたが選択されます。

2 ［ポイント］ボタンの左右で0〜9の数字を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、数字の表示が「＊」に変わります。
これで１けた目が決定されました。
この操作を繰り返し、「＊」が4つ並んでいれば、4けた全ての数字が決定しています。
※ 工場出荷時の暗証番号は、「1234」です。
※ 数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタン下で「クリア」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「＊」が消え入力をやりなおすことができます。

3 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押すと「暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。☞上記『手順*5*』

メモ

数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタン下で「クリア」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「＊」が消え、入力をやりなおすことができます。
※ 以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
・「暗証番号」と入力した数字(見た目は「＊」)とその枠が赤く表示された。
・「暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。

各種セッティング

暗証番号を変更する

1 ［ポイント］ボタン上下で「暗証番号変更」を選択します。
「新暗証番号」の最初のけたが選択されます。

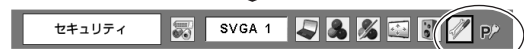
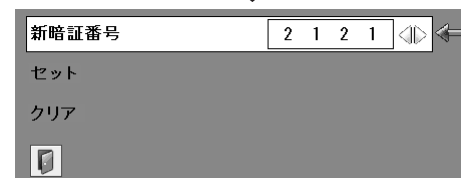
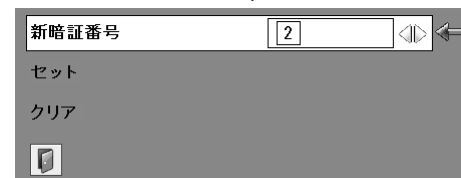
2 ［ポイント］ボタンの左右で0～9の数字を選択し、［SELECT］ボタンを押し、新しい4けたの暗証番号を入力・決定します。
この操作を繰り返し、4けた全ての数字を決定します。

※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

3 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押すとポインタが自動的に に移動します。これで新しい暗証番号が登録されました。

※ このとき、［SELECT］ボタンを押すと、入力画面から抜けることができ、「暗証番号ロック」メニューの画面まで戻ります。

メモ

・入力を中断し、この機能を操作するのをやめるときは、［ポイント］ボタンの上下で を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「暗証番号ロック」の画面まで戻ります。
・数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタン下で「クリア」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、入力をやりなおすことができます。
・以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
　・「新暗証番号」と入力した数字とその枠が赤く表示された。
　・「新暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。

暗証番号ロックの「オン1」、「オン2」いずれかが選択されていることを表しています。

ファン

電源を切ったときの冷却ファンの回転動作を切り替えることができます。

L1 ・・・自動でファンの回転速度を調整します。
「L2」より大きい音がします。
電源を切ったとき、冷却のためにファンの回転速度があがり、投映時よりファンの音が気になるときがあります。
ファンが停止するまで、約90秒かかります。

L2 ・・・ファンの回転速度を投映時と同じに調整し、ファンの音が大きくならないようにします。ただし、「L1」よりファンの停止に時間がかかります。
ファンが停止するまで、約120秒かかります。

※ 工場出荷時は「L2」に設定されています。

ランプカウンター

ランプカウンター（実使用時間）をリセットします。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ(黄)の点灯が消えます。

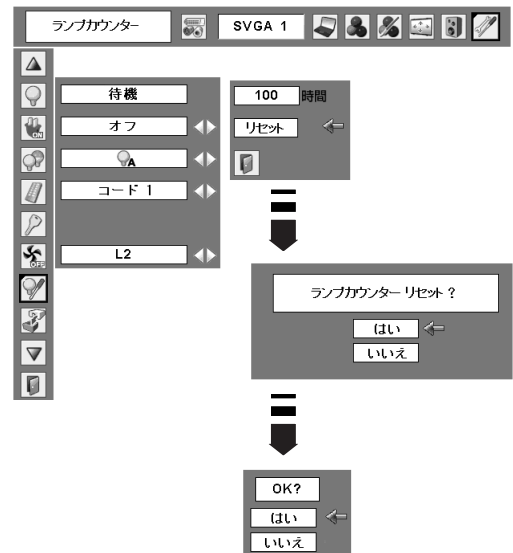
注意　ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ランプカウンター」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

2 ランプの使用時間と、カウンターをリセットする項目が現れます。［ポイント］ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

3 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

4 さらに、「OK？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

※ポインタは「**2**」の画面にある に戻ります。

初期設定

下記の設定以外を、工場出荷状態に戻します。
・ランプカウンター（点灯時間）
・ロゴ暗証番号ロック
・暗証番号ロック
・ユーザーロゴ
※ この設定は電源コードを抜いても有効です。

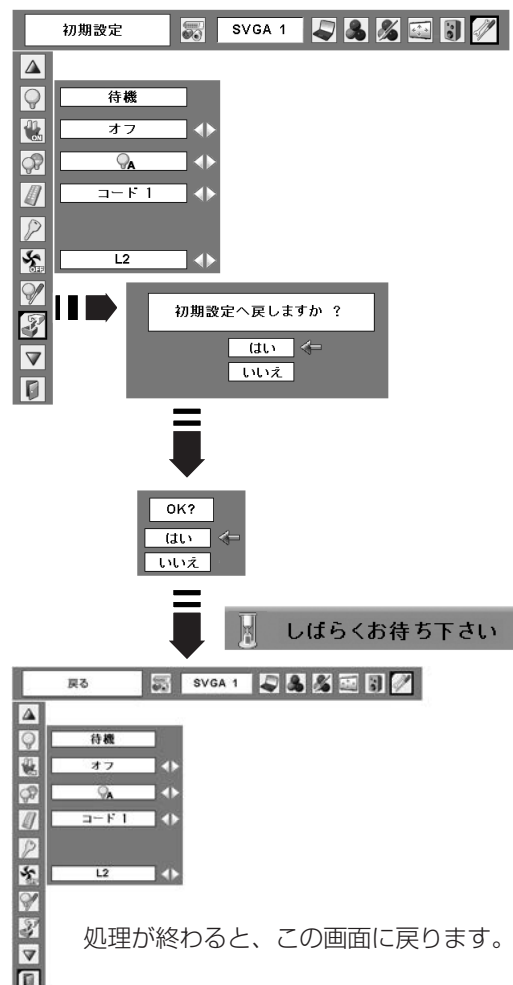
ご注意

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

処理が終わると、この画面に戻ります。

1 ［ポイント］ボタンの上下で「初期設定」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

2 「初期設定へ戻しますか？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

3 さらに、「OK？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。設定が工場出荷時に戻ります。

ランプの交換

LAMP REPLACEインジケータの点灯

［LAMP REPLACE］インジケータ（黄）の点灯は、ランプ交換時期の目安です。［LAMP REPLACE］インジケータ（黄）が点灯した場合は、ランプをすみやかに交換してください。［LAMP REPLACE］インジケータは、ランプカウンターをリセットするまで電源「ON(入)」 のときに点灯します。なお、［LAMP REPLACE］インジケータが点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。

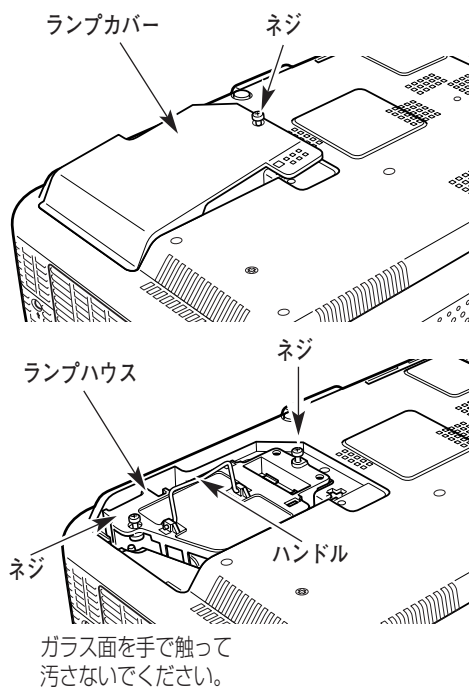
ランプの交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごと行ないます。必ず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

・交換ランプの品番： **POA-LMP90**
(サービス部品コード：610 323 0726)
・プロジェクターの品番： **LP-XU73 / LP-SU70**

⚠ 注意 動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

1. 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず45分以上放置してください。
2. (+)ドライバーで1本ネジをゆるめてランプカバーを外します。
3. ランプハウスの2本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
4. 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2本のネジを締めて固定します。
5. ランプカバーを取り付け、ネジを締めて固定します。

ガラス面を手で触って
汚さないでください。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ(黄)の点灯が消えます。
ランプカウンターのリセットのしかたは、57ページの「ランプカウンター」の設定を参照ください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズキャップをはめ、ケースなどに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

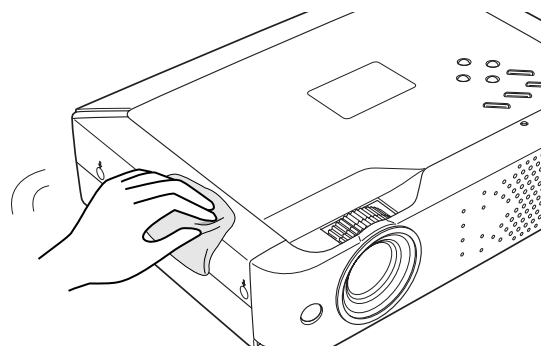
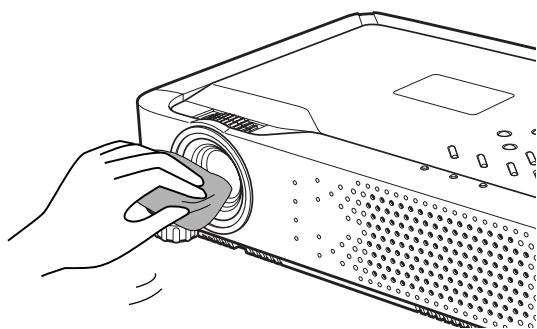
● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナー (カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー) で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。（掃除のしかたは 、次ページを参照）

エアフィルターはこまめに掃除してください

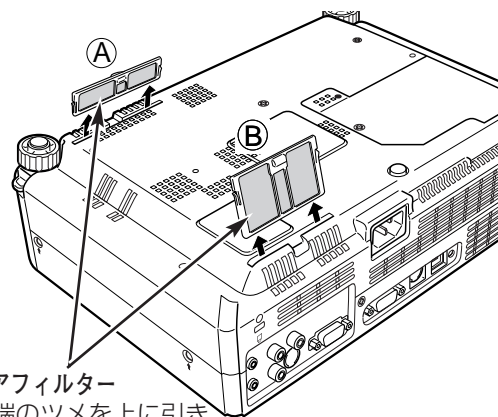
エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルターや吸気口は、こまめに掃除してください。

1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行なってください。

2 プロジェクターを裏返します。エアフィルターの両端のツメを上に引き上げて、エアフィルターをはずします。

3 エアフィルターのホコリをブラシなどで取ります。

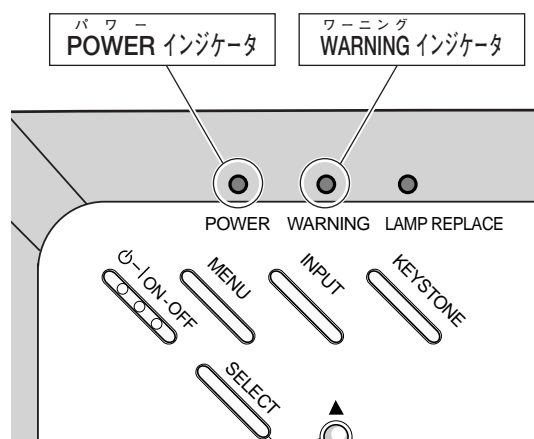
4 エアフィルターを取り付けます。

エアフィルターの汚れがひどいときは、水洗いの後よく乾かしてから取り付けてください。取り替え用エアフィルター (別売) は、お買い上げの販売店にご相談ください。

エアフィルター
両端のツメを上に引き上げて取り外します。

取り替え用エアフィルターの品番：フィルターA　610-323-2416
フィルターB　610-323-1860

●お掃除の際にご注意ください●

・エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
・エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
・エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

内部の温度上昇について

[WARNING] インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると［WARNING］インジケータ が赤く点滅し、保護のために自動的に電源が切れ、［POWER］インジケータが赤く点滅します。（［WARNING］インジケータも点滅を続けます。）温度が下がると［POWER］インジケータが赤く点灯し、リモコンおよび本体の［ON-OFF］ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると［WARNING］インジケータの点滅が消えます。［WARNING］インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- 底面のエアフィルターにホコリがたまっていませんか。エアフィルターを掃除してください。
- 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。（使用温度範囲：5℃～35℃）
- 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

電源を入れるときは、［POWER］インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び［WARNING］インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れ［WARNING］インジケータ が点灯しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、［WARNING］インジケータが赤く点灯を始めます。このとき、リモコンおよび本体の［ON-OFF］ボタンでの電源入り切りはできなくなります。
このような時は、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れなおしプロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ、［WARNING］インジケータが点灯する場合、プロジェクターの点検をお買い上げの販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。
また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

インジケータの名称と点灯状態			プロジェクターの状態
POWER 緑/赤	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄	
● 消灯	● 消灯	● 消灯	電源コードがコンセントから抜けています。
点灯：赤	● 消灯	※	プロジェクターはスタンバイ状態です。［ON-OFF］ボタンを押すと動作します。
○ 点灯：緑	● 消灯	※	プロジェクターは正常に動作しています。
点滅：赤	点滅：赤	※	プロジェクターの内部温度が高くなっています。［ON-OFF］ボタンを押しても電源は入りません。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、［POWER］インジケータが点灯に変わります。［ON-OFF］ボタンを押してプロジェクターを始動することができます。（［WARNING］インジケータは点滅したままです。）エアフィルターの点検などを行なってください。
点灯：赤	点滅：赤	※	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。［ON-OFF］ボタンを押すと、［WARNING］インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。
点滅：赤	● 消灯	※	ランプの冷却中です。インジケータが赤の点灯に変わるまで、［ON-OFF］ボタンを押して始動することはできません。
● 消灯	点灯：赤	※	プロジェクターの内部に異常が検出されました。［ON-OFF］ボタンを押しても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れなおしてください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をお客様相談センターへご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。
点滅：緑	● 消灯	※	パワーマネージメントモードになっています。プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。

○ ･･･点灯：緑　○ ･･･点滅：緑　◍ ･･･点灯：赤　◍ ･･･点滅：赤　● ･･･消灯

※･･･［LAMP REPLACE］インジケータが点灯するとランプの寿命です。（正常時は消灯）すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。 ☞57ページ

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、つぎのことをお確かめください。

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源が入らない	● 電源コードは接続されていますか。 ● 電源は入っていますか。[ON-OFF] ボタンを押してみてください。 ● [POWER] インジケータが消えているとき、または赤く点滅しているときは、[ON-OFF] ボタンを押しても電源が 入りません。 ● [WARNING] インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、[ON-OFF] ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が 下がるまでお待ちください。 ●「キーロック」がはたらいていませんか。リモコンの [ON-OFF] ボタンを押してみてください。	24、26 62 54
画像が映らない	● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 電源を入れたあと約30秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。(「オンスクリーン表示・オフ」のときをのぞく) ● レンズキャップをとりましたか。 ● コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。 ● 使用温度範囲(5℃〜35℃)からはずれていませんか。 ●「NO SHOW」モードになっていませんか。リモコンの [NO SHOW] ボタンを押してみてください。 ● コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。	14、20~22 25 32、42
音が出ない	● コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 音量が最小になっていませんか。[VOLUME +] ボタンを押してみてください。 ● 消音状態になっていませんか。[MUTE] ボタンを押すか、[VOLUME +] ボタンを押してみてください。 ● [AUDIO OUT] 端子にプラグがささっていませんか。[AUDIO OUT] 端子にプラグがささっていると内蔵スピーカから音は出ません。 ● 抵抗内蔵のオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルを使用してください。	14、20~22
画像が不鮮明	● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。 ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。 ● スクリーンに対して過度に斜めに投映しているときは、画面に台形ひずみ (あおり) ができ、 部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。 ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。	27 19 19、27
画像の色がおかしい	●「イメージモード」が「黒(緑)板」になっていませんか。リモコンの [IMAGE] ボタン、または「メニュー」から「イメージモード」を確認してください。	
映像が左右(上下)逆さまに映っている	●「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	52
オンスクリーンメニューが出ない	●「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	48
「コンピュータ2」が表示されない	●「端子」が「モニター出力」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	52
リモコンで操作できない	● 電池は正しく入っていますか。+−を正しく入れてください。 ● 電池がなくなっていませんか。新しい電池と交換してください。 ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。 ● リモコンコードを切り替えていませんか。リモコンコードを確認してください。 ●「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」を確認してください。	17 17 17 17 17 54

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源を入れたら、暗証番号を要求された	● 「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。解除、または設定の変更は「セッティング」の「暗証番号ロック」を確認してください。	54

コンピュータシステムモード一覧

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(「カスタムモード 1～5」 は含みません。) 接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	
VGA 1	640 x 480	31.47	59.88	MAC 19	1024 x 768	60.24	75.08	
VGA 2	720 x 400	31.47	70.09	SXGA 1	1152 x 864	64.20	70.40	
VGA 3	640 x 480	31.47	70.09	SXGA 2	1280 x 1024	62.50	58.60	✻2
VGA 4	640 x 480	37.86	74.38	SXGA 3	1280 x 1024	63.90	60.00	✻2
VGA 5	640 x 480	37.86	72.81	SXGA 4	1280 x 1024	63.34	59.98	✻2
VGA 6	640 x 480	37.50	75.00	SXGA 5	1280 x 1024	63.74	60.01	✻2
VGA 7	640 x 480	43.269	85.00	SXGA 6	1280 x 1024	71.69	67.19	✻2
MAC LC13	640 x 480	34.97	66.60	SXGA 7	1280 x 1024	81.13	76.107	✻2
MAC 13	640 x 480	35.00	66.67	SXGA 8	1280 x 1024	63.98	60.02	✻2
480p	――――	31.47	59.88	SXGA 9	1280 x 1024	79.976	75.025	✻2
575p	――――	31.25	50.00	SXGA 10	1280 x 960	60.00	60.00	✻2
480i	――――	15.734	60.00 (インターレース)	SXGA 11	1152 x 900	61.20	65.20	
575i	――――	15.625	50.00 (インターレース)	SXGA 12	1152 x 900	71.40	75.60	✻2
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.25	SXGA 13	1280 x 1024	50.00	86.00 (インターレース)	
SVGA 2	800 x 600	37.88	60.32	SXGA 14	1280 x 1024	50.00	94.00 (インターレース)	
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.00	SXGA 15	1280 x 1024	63.37	60.01	✻2
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.06	SXGA 16	1280 x 1024	76.97	72.00	✻2
SVGA 5	800 x 600	48.08	72.19	SXGA 17	1152 x 900	61.85	66.00	
SVGA 6	800 x 600	37.90	61.03	SXGA 18	1280 x 1024	46.43	86.70 (インターレース)	
SVGA 7	800 x 600	34.50	55.38	SXGA 19	1280 x 1024	63.79	60.18	✻2
SVGA 8	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 20	1280 x 1024	91.146	85.024	✻1
SVGA 9	800 x 600	38.60	60.31	SXGA 21	1400 x 1050	63.979	60.190	✻2
SVGA 10	800 x 600	32.70	51.09	SXGA 22	1400 x 1050	65.346	60.116	✻2
SVGA 11	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 23	1400 x 1050	65.121	59.902	✻2
MAC 16	832 x 624	49.72	74.55	MAC 21	1152 x 870	68.68	75.06	✻2
XGA 1	1024 x 768	48.36	60.00	MAC	1280 x 960	75.00	75.08	✻2
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997	MAC	1280 x 1024	80.00	75.08	✻2
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.03	WXGA 1	1366 x 768	48.36	60.00	
XGA 4	1024 x 768	56.476	70.07	WXGA 2	1360 x 768	47.70	60.00	
XGA 5	1024 x 768	60.31	74.92	WXGA 3	1366 x 768	48.36	60.00	
XGA 6	1024 x 768	48.50	60.02	WXGA 4	1360 x 768	56.16	72.00	✻2
XGA 7	1024 x 768	44.00	54.58	UXGA 1	1600 x 1200	75.00	60.00	✻1
XGA 8	1024 x 768	63.48	79.35	UXGA 2	1600 x 1200	81.25	65.00	✻1
XGA 9	1024 x 768	36.00	87.17 (インターレース)	UXGA 3	1600 x 1200	87.50	70.00	✻1
XGA 10	1024 x 768	62.04	77.07	UXGA 4	1600 x 1200	93.75	75.00	✻1
XGA 11	1024 x 768	61.00	75.70	720p	――――	45.00	60.00	
XGA 12	1024 x 768	35.522	86.96 (インターレース)	1035i	――――	33.75	60.00 (インターレース)	
XGA 13	1024 x 768	46.90	58.20	1080i	――――	33.75	60.00 (インターレース)	
XGA 14	1024 x 768	47.00	58.30	1080i	――――	28.125	50.00 (インターレース)	
XGA 15	1024 x 768	58.03	72.00					

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

※ LP-XU73で、SXGA、WXGA、UXGA、Mac21、Mac、720p、1035i、1080iの信号を投映するときは、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

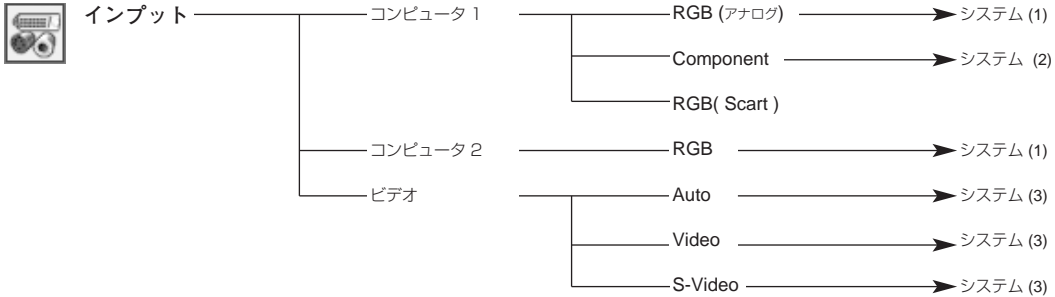
※ LP-SU70で、XGA、SXGA、WXGA、UXGA、Mac16、Mac19、Mac21、Mac、720p、1035i、1080iの信号を投映するときは、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

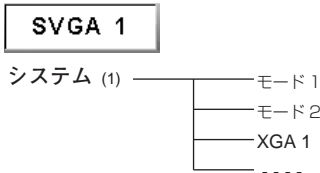
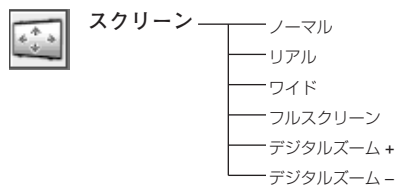
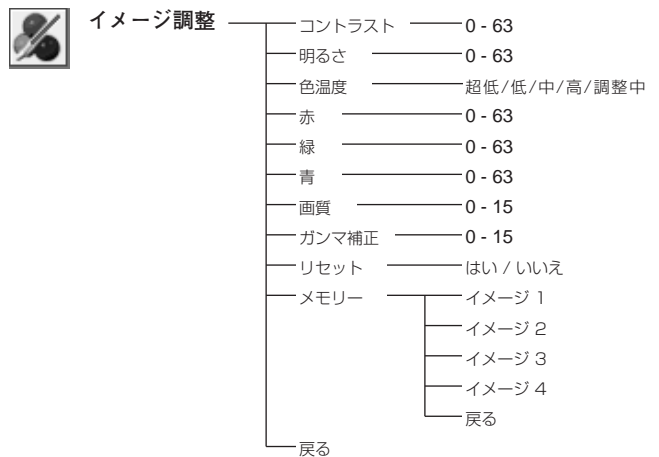
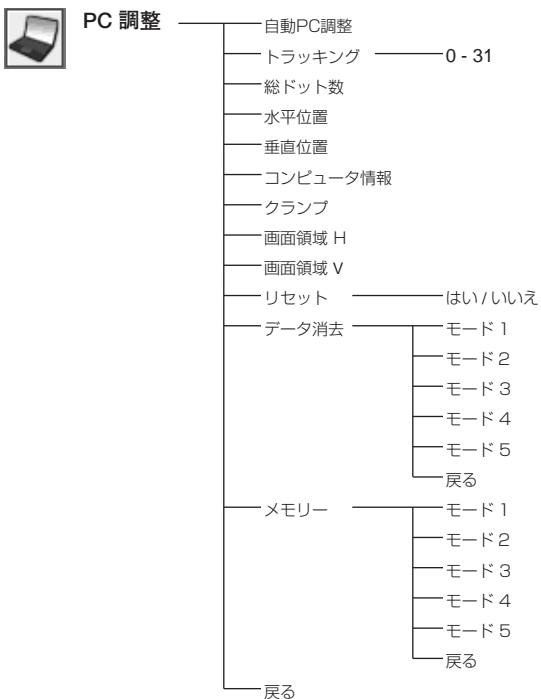
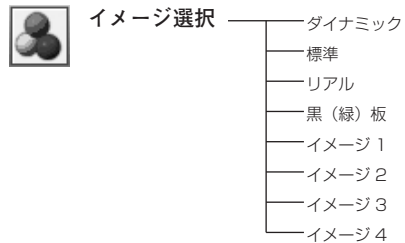
※ LP-XU73は、ドットクロックが 140MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。
LP-SU70は、ドットクロックが 100MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。

✻1：LP-XU73/LP-SU70で、「PC調整」メニュー内で調整できないメニューが生じる場合があります。

✻2：LP-SU70で、「PC調整」メニュー内で調整できないメニューが生じる場合があります。

メニュー内容一覧

コンピュータ / ビデオ　インプット

サウンド

コンピュータ入力

＊表示される内容は入力された信号によって異なります。

ビデオ入力
Auto
システム (2)
Auto
1080i
1035i
720p
575p
480p
575i
480i
Auto
システム (3)
Auto
PAL
SECAM
NTSC
NTSC 4.43
PAL-M
PAL-N
イメージ選択
ダイナミック
標準
シネマ
黒（緑）板
イメージ 1
イメージ 2
イメージ 3
イメージ 4
イメージ調整
コントラスト
0 - 63
明るさ
0 - 63
色の濃さ
0 - 63
色合い
0 - 63
色温度
超低/低/中/高/調整中
赤
0 - 63
緑
0 - 63
青
0 - 63
画質
0 - 15
ガンマ補正
0 - 15
ノイズリダクション
オフ/ L1 / L2
プログレッシブ
オフ/ L1 / L2 / フィルム
リセット
はい / いいえ
メモリー
イメージ 1
イメージ 2
イメージ 3
イメージ 4
戻る
戻る
スクリーン
ノーマル
ワイド
セッティング
セッティング
言語
英語
ドイツ語
フランス語
イタリア語
スペイン語
ポルトガル語
オランダ語
スウェーデン語
フィンランド語
ポーランド語
ハンガリー語
ルーマニア語
ロシア語
中国語
韓国語
日本語
戻る
キーストーン
メモリー/リセット
ブルーバック
オン / オフ
オンスクリーン表示
オン / カウントダウンオフ / オフ
ロゴ
ロゴ選択
オフ / 初期設定 / ユーザー
キャプチャー
はい / いいえ
ロゴ暗証番号ロック
オン / オフ
ロゴ暗証番号変更
戻る
戻る
天吊り
オン / オフ
リア投映
オン / オフ
端子
コンピュータ2 / モニター出力
パワーマネージメント
オフ / 待機 / シャットダウン
1～30（タイマー：分）
戻る
オンスタート
オン / オフ
ランプコントロール
ノーマル / オート / エコ
リモコンコード
コード 1 / コード 2
戻る
セキュリティ
キーロック
プロジェクター
リモコン
オフ
暗証番号ロック
オフ / オン1 / オン2
暗証番号変更
戻る
ファン
L1 / L2
ランプカウンターリセット
H（使用時間）
リセット
戻る
初期設定
はい / いいえ
戻る

仕　様

プロジェクター本体

型　　名	LP-XU73	LP-SU70
種　　類	液晶プロジェクター	
表示方式	液晶パネル 3枚　3原色光シャッター方式	
液晶パネル	サイズ：0.6型 x 3 アスペクト比 4：3 駆動方式：ポリシリコンTFTアクティブマトリクス方式 画素配列：ストライプ	
	画素数：786,432画素 (1,024 × 768) ×3枚 総画素数 2,359,296 画素	画素数：480,000画素 (800× 600) ×3枚 総画素数 1,440,000 画素
投映レンズ	1.2倍ズームレンズ　F= 1.65 ～ 1.81　f= 22.5 ～ 27 mm	
光　　源	200W UHPランプ	
画面サイズ（投映距離）	最小 40 ～ 最大 300 型（1.4m～13.2m）	
ズーム/フォーカス調整	手動	
入出力 コンピュータ	アナログRGB入出力 (入力2系統・出力1系統)：ミニD-sub 15ピン アナログRGB信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期：TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス75Ω)	
ビ デ オ	ビデオ入力 (1系統) 映像：ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω S映像：セパレートYC信号、ミニDIN 4ピン Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C；0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス75Ω コンポーネント：セパレートY Cb/Pb Cr/Pr信号、ミニD-sub 15ピン Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω Cb/Pb；0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Cr/Pr；0.7Vp-p、インピーダンス75Ω	
音　　声	音声入力 (2系統)：ミニジャック (ステレオ)、400mVrms、インピーダンス47KΩ以上 音声入力：ピンジャック、400mVrms、インピーダンス47KΩ以上 (左モノ：右) 音声モニター出力（コンピュータ / ビデオ兼用）：ミニジャック（ステレオ）、可変出力、インピーダンス1KΩ以下	
制御入出力、他	サービスポート：ミニDIN 8ピン USB端子：USBコネクター、シリーズ B、シングルポート	
走査周波数	水平 15K～100KHz、垂直 50～100Hz	
カラーシステム	6システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)	
音声出力	モノラル　1W (JEITA)	
スピーカ	2.8 cm　円形 1個	
電　　源	AC100V　50/60Hz	
消費電力	250W（ノーマルモード） 205W（エコモード） 9W (待機中消費電力)	
本体寸法	幅 294.5×高さ 69.5×奥行 208 mm	
質　　量	2.4 Kg	

※ 高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投映中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電源	DC3.0V　単3形アルカリ乾電池 2本使用
到達距離	約5m (受信部正面)
本体寸法	幅49×高さ22×奥行145.3mm
質量	100g (電池を含む)

付属品

- ■ リモコン ･････････････････････････････････ 1個
- ■ リモコン用 アルカリ乾電池 ･･････････････････ 2本
- ■ 電源コード ･･････････････････････････････ 1本
- ■ コンピュータ接続ケーブル（D-sub用）･･･････ 1本
- ■ 取扱説明書
- ■ 保証書
- ■ レンズキャップ ･･････････････････････････ 1個
- ■ レンズキャップ用ひも ････････････････････ 1本
- ■ PIN code lock シール ････････････････････ 1枚

別売品

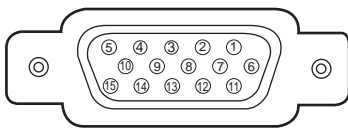
- ■ **D-sub / コンポーネント ケーブル　・・・・ 品番：POA-CA-COMPVGA**
- ■ **天吊金具用ベース金具 ・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHB-XU70**
- ■ **高天井用天吊金具・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHL-UL01**
- ■ **低天井用天吊金具・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHS-US01**
- ■ **レーザ機能付き別売リモコン ・・・・・・・ 品番：POA-RCKIT03**
- ■ **プレゼンテーションリモコンキット ・・・ 品番：POA-RCKIT02**

※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

端子の仕様

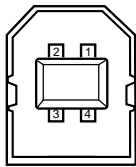
COMPUTER IN 1(2) / COMPONENT IN / MONITOR OUT（コンピュータ入力 / コンポーネント入力 / モニター出力端子）

コンピュータ入力、モニター出力端子として動作します。モニター出力にすると、［COMPUTER IN 1/COMPONENT IN］端子に入力されたコンピュータ（アナログ）信号を出力します。接続には、コンピュータケーブル（D-sub用）をご使用ください。また、ビデオ機器からのコンポーネント信号を入力します。接続には別売のD-sub/コンポーネントケーブル をご使用ください。

ミニ D-sub 15ピン

1	R (R/Cr) 入出力	9	未接続
2	G (G/Y) 入出力	10	接地（垂直同期）
3	B (B/Cb) 入出力	11	接地 / 未接続
4	未接続	12	未接続
5	接地（水平同期）	13	水平同期 入出力（ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ：水平垂直同期）
6	接地 (R)	14	垂直同期 入出力
7	接地 (G)	15	未接続
8	接地 (B)		

USB（ユニバーサルシリアルバス端子）

USB規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。

USB コネクター（シリーズ B）

1	VCC
2	– DATA
3	+ DATA
4	接地

付録

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ...
家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談は　＜総合相談窓口＞ 三洋電機（株）お客さまセンター

受付時間：9：00〜18：30

◆北海道地区　札　幌 ☎(011)290−1522
◆東北地区　仙　台 ☎(022)714−6137
◆関東地区　東　京 ☎(03)3815−1111
◆中部･北陸地区　名古屋 ☎(052)533−5245
◆近畿･四国地区　大　阪 ☎(06)6994−9570
◆中国地区　広　島 ☎(082)297−6067
◆九州･沖縄地区　福　岡 ☎(092)263−7629

※郵便・FAXでご相談される場合は
三洋電機（株）お客さまセンター　〒570−8677　大阪府守口市京阪本通2−5−5
FAX（06）6994−9510
☆上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスについてのご相談は　＜修理相談窓口＞ 三洋コンシューママーケティング（株）

受付時間：月曜日〜金曜日　[9：00〜18：30]
土曜・日曜・祝日 [9：00〜17：30]

出張修理のご依頼 その他の修理相談窓口

東コールセンター　東京 ☎(03)5302−3401
西コールセンター　大阪 ☎(06)4250−8400

関東・首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

東コールセンターへの転送電話番号

◆北海道地区　札幌 ☎(011)833−7888
◆東北地区　仙台 ☎(022)382−2213
◆長野地区　長野 ☎(0263)26−1772
◆新潟地区　新潟 ☎(025)285−2451
◆福島地区　福島 ☎(024)945−6811

西コールセンターへの転送電話番号

◆北陸地区　金　沢 ☎(076)237−6650
◆東海地区　名古屋 ☎(052)979−3456
◆中国地区　広　島 ☎(082)293−9333
◆四国地区　高　松 ☎(087)844−8321
◆九州地区　福　岡 ☎(092)922−9311

◆沖縄地区　沖　縄（098）944−5018
受付時間：月曜日〜土曜日（日曜、祝日および当社休日を除く）[9：00〜12：00、13：00〜17：30]

※「持ち込み修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。
受付時間：月曜日〜土曜日（日曜、祝日を除く）9：00〜17：30

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。
- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ www.sanyo.co.jp をご覧ください。

北海道地区

北海道

札幌 ☎ (011) 831−9201
〒003-0013 札幌市白石区中央三条4−1−36

函館 ☎ (0138) 48−8301
〒041-0824 函館市西桔梗町589−295

苫小牧 ☎ (0144) 33−3421
〒053-0042 苫小牧市三光町2−2−5

旭川 ☎ (0166) 22−2421
〒070-0073 旭川市曙北3条7−3−3

北見 ☎ (0157) 23−4871
〒090-0037 北見市山下町4−7−14

釧路 ☎ (0154) 22−1576
〒085-0021 釧路市浪花町7−7

東北地区

宮城県

仙台 ☎ (022) 384−0444
〒981-1225 名取市飯野坂3−4−8

青森県

青森 ☎ (017) 729−3401
〒030-0141 青森市大字上野字山辺29−5

八戸 ☎ (0178) 28−9225
〒039-1103 八戸市長苗代字観音堂50−5

岩手県

盛岡 ☎ (019) 635−0136
〒020-0863 盛岡市南仙北1−13−6

水沢 ☎ (0197) 23−6621
〒023-0003 水沢市佐倉河字羽黒田45

山形県

山形 ☎ (023) 641−1769
〒990-2432 山形市荒楯町1−21−30

酒田 ☎ (0234) 23−3817
〒998-0842 酒田市亀ヶ崎6−7−16

秋田県

秋田 ☎ (018) 862−6551
〒010-0925 秋田市旭南3−2−67

福島県

郡山 ☎ (024) 945−6793
〒963-0111 郡山市安積町荒井字戸蘭塔1−7

関東・甲信越地区

埼玉県

さいたま ☎ (048) 664−2319
〒331-0812 さいたま市北区宮原町1−30

坂戸 ☎ (049) 284−8900
〒350-0214 坂戸市千代田5−3−17

栃木県

栃木 ☎ (028) 653−2811
〒321-0106 宇都宮市上横田町1302−12

茨城県

茨城 ☎ (0298) 64−4751
〒300-3261 つくば市花畑2−15−3

水戸 ☎ (029) 251−4125
〒311-4152 水戸市河和田3−2386−1

群馬県

群馬 ☎ (027) 362−1151
〒370-0001 高崎市中尾町池の内441

西関東 ☎ (0276) 22−7702
〒373-0015 太田市東新町72−2

新潟県

新潟 ☎ (025) 285−2431
〒950-0971 新潟市近江244

長岡 ☎ (0258) 24−0705
〒940-0029 長岡市東蔵王2−3−46

上越 ☎ (0255) 43−3535
〒942-0074 上越市石橋2−2−9

東京都

城東 ☎ (03) 3607−3191
〒125-0051 葛飾区新宿4−10−15

城北 ☎ (03) 3958−1261
〒173-0021 板橋区弥生町72−5

城西 ☎ (03) 3376−3361
〒151-0073 渋谷区笹塚3−1−13

武蔵野 ☎ (042) 364−7721
〒183-0045 府中市美好町2−3−1

神奈川県

戸塚 ☎ (045) 827−2831
〒224-0806 横浜市戸塚区上品濃9−14

相模原 ☎ (042) 742−2272
〒228-0805 相模原市豊町17−11

平塚 ☎ (0463) 55−3926
〒254-0014 平塚市四之宮3−20−63

千葉県

千葉 ☎ (043) 241−7311
〒260-0025 千葉市中央区問屋町5−20

鎌ケ谷 ☎ (047) 441−0111
〒273-0105 鎌ケ谷市鎌ケ谷7−6−59

山梨県

山梨 ☎ (055) 226−2561
〒400-0035 甲府市飯田4−8−23

中部地区

愛知県

名古屋 ☎ (052) 979−3455
〒461-0011 名古屋市東区白壁5−41

岡崎 ☎ (0564) 23−3418
〒444-0065 岡崎市柿田町1−2

岐阜県

岐阜 ☎ (058) 246−3417
〒501-6006 岐阜県羽島郡岐南町伏屋1−35

静岡県

静岡 ☎ (054) 261−4151
〒420-0813 静岡市長沼885

沼津 ☎ (055) 963−1000
〒410-0861 沼津市真砂町3−1

浜松 ☎ (053) 461−8685
〒435-0016 浜松市和田町795−2

長野県

松本 ☎ (0263) 26−1107
〒390-0835 松本市高宮東1−35

長野 ☎ (026) 299−9501
〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川字東松島1000−2

石川県

金沢 ☎ (076) 237−7811
〒920-0062 金沢市割出町627

富山県

富山 ☎ (076) 422−7020
〒939-8211 富山市二口町1−13−8

福井県

福井 ☎ (0776) 22−6082
〒918-8231 福井市問屋町1−17

三重県

三重 ☎ (059) 228−8126
〒514-0838 津市岩田町10−3

近畿地区

大阪府

大阪 ☎ (06) 6992−6235
〒570-0086 守口市竹町4−13

大阪南 ☎ (06) 6761−4600
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5−1−14 三洋ビル2F

大阪東 ☎ (0729) 65−1811
〒578-0903 東大阪市今米2−3−29

阪和 ☎ (072) 221−8571
〒590-0959 堺市大町西3−1−16

京都府

京都 ☎ (075) 672−0877
〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町41

三丹 ☎ (0773) 27−3458
〒620-0856 福知山市土師宮町1−66

奈良県

奈良 ☎ (0744) 22−7888
〒634-0837 橿原市曲川町 7−1−31

滋賀県

滋賀 ☎ (077) 545−4221
〒520-2134 大津市瀬田1−1−5

和歌山県

和歌山 ☎ (073) 436−3110
〒641-0006 和歌山市中島369

田辺 ☎ (0739) 22−7520
〒646-0051 田辺市稲成町南江原318

兵庫県

神戸 ☎ (078) 651−3951
〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2−1−11

近畿地区

阪神 ☎ (06) 6432−3401
〒661-0026 尼崎市水堂町4−17−6

姫路 ☎ (0792) 96−2141
〒670-0981 姫路市西庄字八町108

淡路 ☎ (0799) 22−2702
〒656-0101 洲本市納字横竹308−1

中国地区

広島県

広島 ☎ (082) 293−6511
〒733-0012 広島市西区中広町3−17−5

福山 ☎ (084) 954−4101
〒721-0952 福山市曙町4−22−10

岡山県

岡山 ☎ (086) 245−1634
〒700-0973 岡山市下中野703−101

津山 ☎ (0868) 22−6133
〒708-0002 津山市上河原239−10

鳥取県

鳥取 ☎ (0857) 24−2930
〒680-0843 鳥取市南吉方3−107

島根県

浜田 ☎ (0855) 22−7883
〒697-0023 浜田市長沢町3049

松江 ☎ (0852) 23−1183
〒690-0017 松江市西津田4−1−14

山口県

山口 ☎ (083) 973−3391
〒754-0024 山口県吉敷郡小郡町若草町2−6

四国地区

愛媛県

愛媛 ☎ (089) 971−3342
〒791-8036 松山市高岡町148−1

宇和島 ☎ (0895) 27−1818
〒798-0077 宇和島市保田甲934−3

香川県

香川 ☎ (087) 843−1840
〒761-0104 高松市高松町2175−10

高知県

高知 ☎ (088) 860−0229
〒781-5106 高知市介良乙1044

徳島県

徳島 ☎ (088) 699−4131
〒771-0219 徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓150−2

九州地区

福岡県

福岡 ☎ (092) 928−3414
〒818-8534 筑紫野市紫6−1−1

北九州 ☎ (093) 521−5286
〒802-0023 北九州市小倉北区下富野2−10−28

中九州 ☎ (0942) 21−3534
〒830-0052 久留米市上津町字赤坂1890−2

長崎県

長崎 ☎ (095) 824−5628
〒850-0012 長崎市本河内3−21−43

佐世保 ☎ (0956) 31−7635
〒857-1162 佐世保市卸本町17−1

熊本県

熊本 ☎ (096) 357−1122
〒861-4106 熊本市南高江町3−2−88

八代 ☎ (0965) 35−3483
〒866-0871 八代市田中東町12−7

大分県

大分 ☎ (097) 543−3454
〒870-0822 大分市大道町3−4−32

宮崎県

宮崎 ☎ (0985) 29−3441
〒880-0036 宮崎市花ケ島町観音免883

鹿児島県

鹿児島 ☎ (099) 251−4615
〒890-0068 鹿児島市東郡元町11−10

沖縄地区

沖縄県

沖縄 ☎ (098) 944−5018
〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)サービス部

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。 (290305E)

暗証番号がわからなくなったとき

暗証番号を忘れるとプロジェクターの操作ができなくなります

暗証番号を忘れると、プロジェクターの操作ができなくなります。以下の記入欄に登録した暗証番号を書き留めておくことをおすすめします。ただし、第三者に見られたり、持ち出されたりしないように、取扱説明書は大切に保管してください。暗証番号がわからなくなってしまったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

暗証番号ロック
の暗証番号

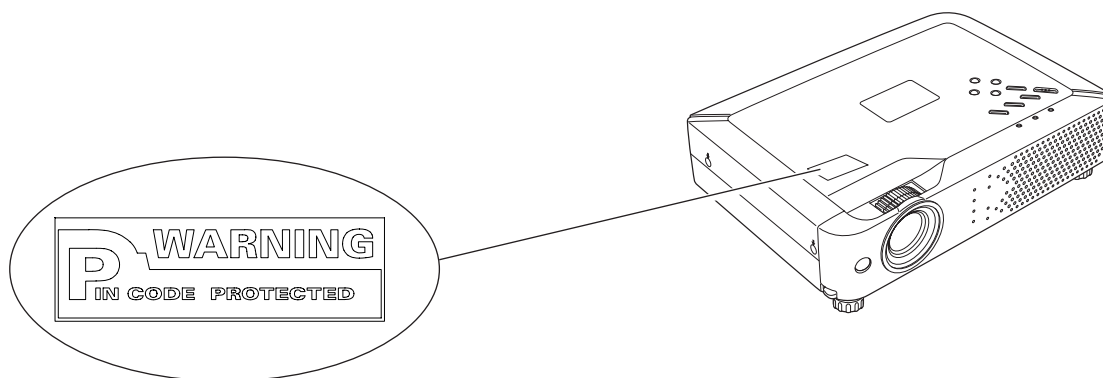
工場出荷時の暗証番号：　１２３４*

ロゴ暗証番号ロック
の暗証番号

工場出荷時の暗証番号：　４３２１*

*暗証番号を変更された場合は、工場出荷時の暗証番号は無効になります。

暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録し、暗証番号を有効にしているとき、付属のシールを本体の目立つところへ貼り付けます。

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より１年間です。
（ただし、ランプは６ヶ月です）

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでもなおらない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに ご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後８年です。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、
お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検

●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ● 映像が時々消えることがある。 ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ● 内部に水や異物が入った。 ● その他異常や故障がある。

ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ

品　番	LP-XU73 / LP-SU70
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さまご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

AVカンパニー
プロジェクタービジネスユニット
事業企画部　国内販売課
〒574 - 8534 大阪府大東市三洋町1 - 1

1AA6P1P4914-- (MT5C)　ⓐ